

# 馬絹地区 防災まちづくりに関するアンケート調査 調査結果

## —目次—

調査概要	1
「基本属性」項目の集計	2
「災害に対する備えや知識」項目の集計	4
「地域の防災活動」項目の集計	8
「自由記述」の集計	11
クロス集計   地区別集計	20
クロス集計   年齢別集計	21
クロス集計   防災まちづくり参加の有無別集計	31

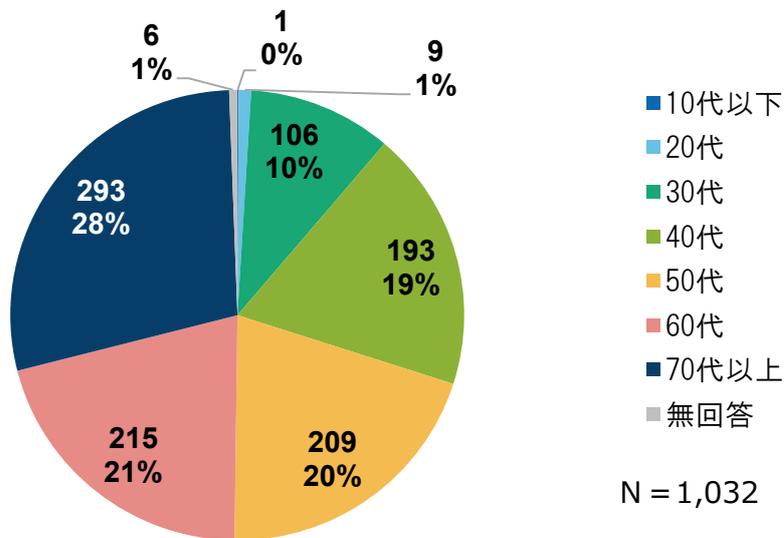
【調査概要】

- ・実施期間：2019年11月15日（金）～12月15日（日）
- ・回答者数：調査票…1,032名、WEB…98名 合計1,130名
- ・回答率：24.9%（配布世帯数は4,531世帯）

（参考）回答手段別の年齢属性について

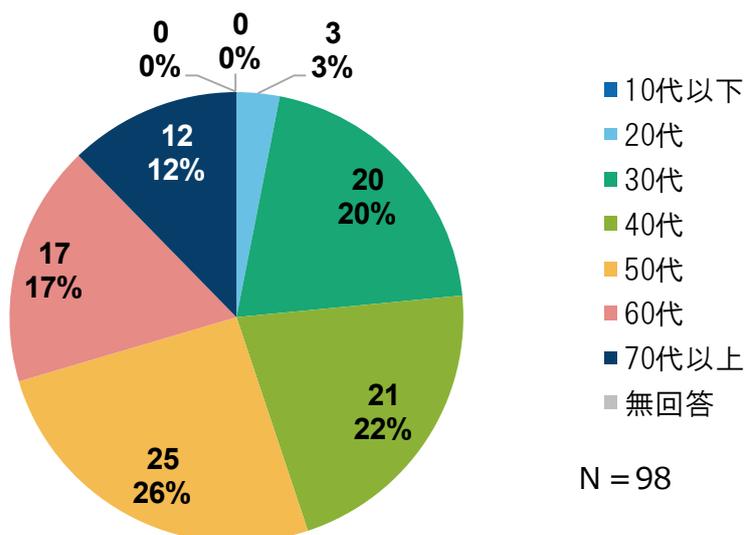
◆調査票による回答者

「70代以上」の回答者が最も多く、次いで「60代」、「50代」、「40代」の順となった。



◆WEBによる回答者

「50代」の回答者が最も多く、次いで「40代」、「30代」、「60代」の順となった。



**【基本属性】 あなたやご家族、ご自宅のことについてお答えください。**

<p>1</p>	<p><b>お住いの地区を教えてください。</b></p> <p>お住いは「馬絹4丁目」が37%と最も多く、次いで「馬絹1丁目」、「馬絹5丁目」、「馬絹2丁目」の順となった。</p>	<table border="1"> <caption>お住いの地区別の割合</caption> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>馬絹1丁目</td> <td>246</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>馬絹2丁目</td> <td>118</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>馬絹3丁目</td> <td>85</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>馬絹4丁目</td> <td>414</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>馬絹5丁目</td> <td>158</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>馬絹6丁目</td> <td>102</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>7</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	地区	人数	割合	馬絹1丁目	246	22%	馬絹2丁目	118	10%	馬絹3丁目	85	7%	馬絹4丁目	414	37%	馬絹5丁目	158	14%	馬絹6丁目	102	9%	無回答	7	1%			
地区	人数	割合																											
馬絹1丁目	246	22%																											
馬絹2丁目	118	10%																											
馬絹3丁目	85	7%																											
馬絹4丁目	414	37%																											
馬絹5丁目	158	14%																											
馬絹6丁目	102	9%																											
無回答	7	1%																											
<p>2</p>	<p><b>あなたのご年齢を教えてください。</b></p> <p>回答者は「70代以上」が27%と最も多く、次いで「50代」、「60代」、「40代」の順となった。</p>	<table border="1"> <caption>年齢別の割合</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10代以下</td> <td>12</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>20代</td> <td>6</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>126</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>214</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>234</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>232</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>70代以上</td> <td>305</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	人数	割合	10代以下	12	1%	20代	6	1%	30代	126	11%	40代	214	19%	50代	234	21%	60代	232	20%	70代以上	305	27%	無回答	1	0%
年齢	人数	割合																											
10代以下	12	1%																											
20代	6	1%																											
30代	126	11%																											
40代	214	19%																											
50代	234	21%																											
60代	232	20%																											
70代以上	305	27%																											
無回答	1	0%																											
<p>3</p>	<p><b>世帯の構成を教えてください。</b></p> <p>「二世帯（親子など）」が54%と最も多く、次いで「夫婦のみ」、「単身」、「三世帯（親と子と孫など）」の順となった。</p>	<table border="1"> <caption>世帯構成別の割合</caption> <thead> <tr> <th>世帯構成</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単身</td> <td>115</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>夫婦のみ</td> <td>317</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>二世帯（親子など）</td> <td>609</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>三世帯（親と子と孫など）」</td> <td>47</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>30</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>12</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	世帯構成	人数	割合	単身	115	10%	夫婦のみ	317	28%	二世帯（親子など）	609	54%	三世帯（親と子と孫など）」	47	4%	その他	30	3%	無回答	12	1%						
世帯構成	人数	割合																											
単身	115	10%																											
夫婦のみ	317	28%																											
二世帯（親子など）	609	54%																											
三世帯（親と子と孫など）」	47	4%																											
その他	30	3%																											
無回答	12	1%																											

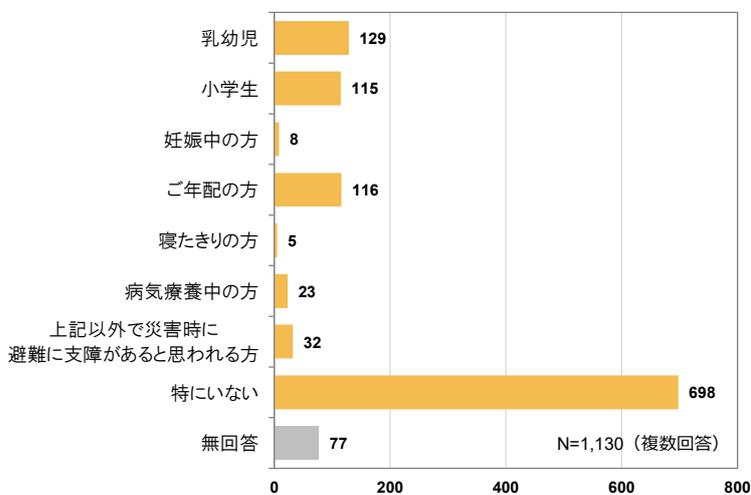
同居のご家族の中(自身を含む)に、避難時に支援(手伝い)が必要な方がいますか。

【複数回答可】

4

「特にいない」との回答が圧倒的に多い結果となったが、次いで「乳幼児」、「ご年配の方」、「小学生」の順となった。

(参考) P.20 地区別のクロス集計を掲載

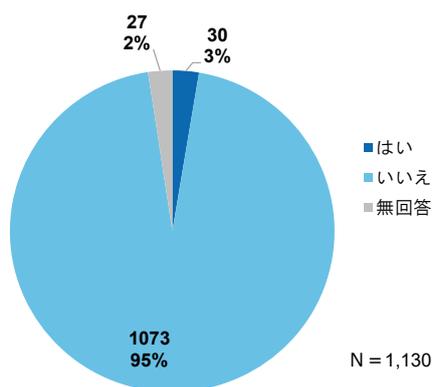


5

ご自宅に井戸はありますか。

「いいえ」が95%と圧倒的に多く、「はい」が3%という結果であった。

(参考) P.20 地区別のクロス集計を掲載

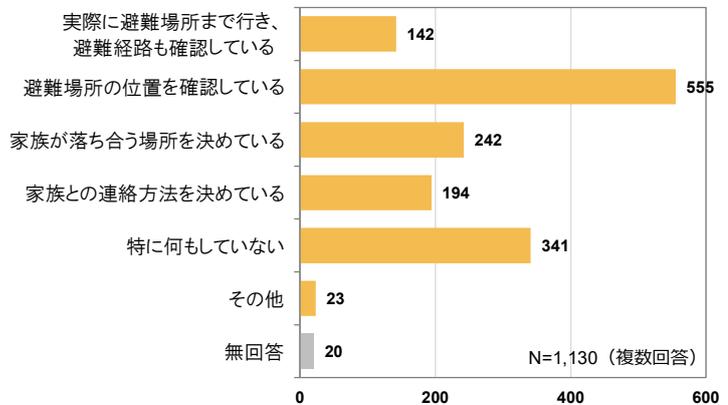


災害に対する備えや知識についてお答えください。

1	<p><b>馬絹地区で想定される災害について、ハザードマップや防災マップで確認していますか。</b></p> <p>「はい」が56%、「いいえ」が43%という結果であった。</p>	<p>A pie chart showing the distribution of responses to the question about checking hazard or disaster maps. The chart is divided into three segments: a dark blue segment for 'はい' (Yes) at 56% (627 responses), a light blue segment for 'いいえ' (No) at 43% (487 responses), and a very thin grey segment for '無回答' (No answer) at 1% (16 responses). The total sample size is N = 1,130.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>56%</td> <td>627</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>43%</td> <td>487</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1%</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	人数	はい	56%	627	いいえ	43%	487	無回答	1%	16
回答	割合	人数												
はい	56%	627												
いいえ	43%	487												
無回答	1%	16												
2	<p><b>馬絹地区は大規模な地震等が起きた際に、大規模な火災延焼の恐れがあることを知っていますか。</b></p> <p>「はい」が28%、「いいえ」が71%という結果であった。延焼クラスターであることの認識は低く、引き続き周知が必要。</p>	<p>A pie chart showing awareness of large-scale fire spread. The chart is divided into three segments: a dark blue segment for 'はい' (Yes) at 28% (318 responses), a light blue segment for 'いいえ' (No) at 71% (803 responses), and a very thin grey segment for '無回答' (No answer) at 1% (9 responses). The total sample size is N = 1,130.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>28%</td> <td>318</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>71%</td> <td>803</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1%</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	人数	はい	28%	318	いいえ	71%	803	無回答	1%	9
回答	割合	人数												
はい	28%	318												
いいえ	71%	803												
無回答	1%	9												
3	<p><b>今後30年以内に震度5～7程度の地震が発生する確率が70%と知っていましたか。</b></p> <p>「はい」が84%、「いいえ」が15%という結果であった。大地震のリスクに対する認識は比較的高い。</p>	<p>A pie chart showing awareness of a 70% probability of earthquakes of magnitude 5-7 within 30 years. The chart is divided into three segments: a dark blue segment for 'はい' (Yes) at 84% (951 responses), a light blue segment for 'いいえ' (No) at 15% (172 responses), and a very thin grey segment for '無回答' (No answer) at 1% (7 responses). The total sample size is N = 1,130.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>84%</td> <td>951</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>15%</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1%</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	人数	はい	84%	951	いいえ	15%	172	無回答	1%	7
回答	割合	人数												
はい	84%	951												
いいえ	15%	172												
無回答	1%	7												
4	<p><b>避難所で備えている物資は、人口の1割程度と知っていますか。</b></p> <p>「はい」が26%、「いいえ」が73%という結果であった。備蓄の重要性を引き続き、周知していくことが必要。</p>	<p>A pie chart showing awareness of the amount of supplies in shelters. The chart is divided into three segments: a dark blue segment for 'はい' (Yes) at 26% (295 responses), a light blue segment for 'いいえ' (No) at 73% (822 responses), and a very thin grey segment for '無回答' (No answer) at 1% (13 responses). The total sample size is N = 1,130.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>26%</td> <td>295</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>73%</td> <td>822</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1%</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	人数	はい	26%	295	いいえ	73%	822	無回答	1%	13
回答	割合	人数												
はい	26%	295												
いいえ	73%	822												
無回答	1%	13												

あなたやご家族は、自宅以外の場所へ避難しなければならない事態に備えてどのような対策をとっていますか。【複数回答可】

「避難場所の位置を確認している」との回答が最も多い一方で、「特に何もしていない」との回答も多い。



※「その他」については、概ね以下のような意見が挙げられた。

5

防災グッズ・備蓄品の準備

「避難用具の準備をしている」、「お水、食料、少し用意しています」

避難場所

「自宅敷地が避難場所として有効」、「指定避難所（小学校）は遠い 1km で、近くの中学校 300m」、「避難所は知っているが、地区の一時避難場所は知らない」、「宮崎小学校まで場所が遠い」、「避難場所、車もないので遠すぎる」、「避難所の限界を知っている、但し、連絡所の役目は有り」、「避難場所の位置を確認したいです。避難場所…経路等、教えてもらいたい」、「6丁目は宮崎小学校が指定されているが、遠いので宮崎中学校に避難する予定」

自力避難不可

「宮小まで行くのは不可能」、「障害を抱えているので、簡単には避難出来ない」

ペットがいる

「犬がいるので、自宅待機するかもしれないと言ってある」

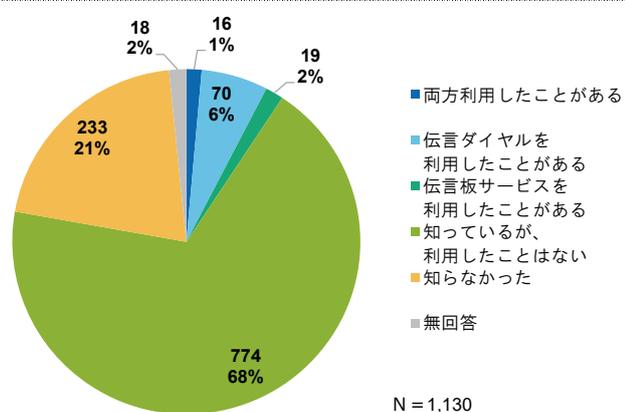
その他

「災害伝言ダイヤルの利用」

災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板サービス「WEB171」を利用（体験利用を含む）したことはありますか。

6

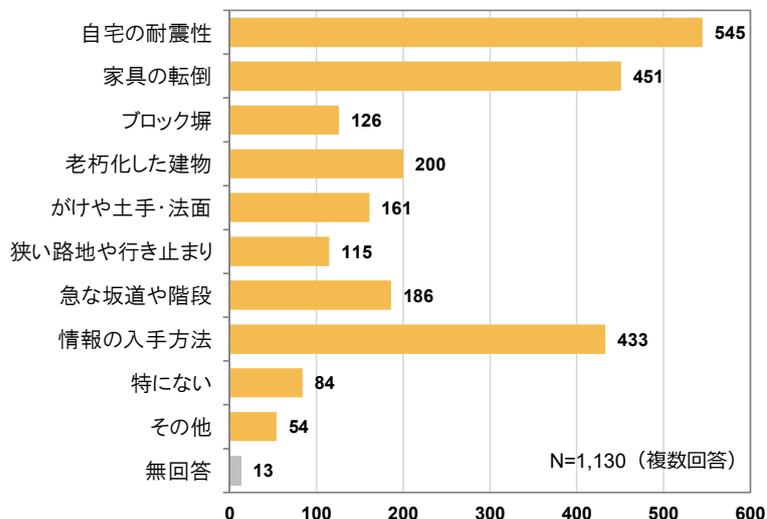
「知っているが、利用したことはない」が 69%と最も多く、次いで「知らなかった」、「伝言ダイヤルを利用したことがある」の順となった。



災害が起きた時、身の回りで気になることはありますか。

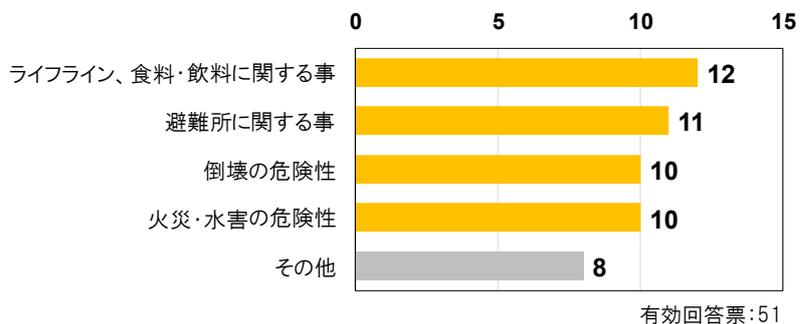
【複数回答可】

「自宅の耐震性」との回答が最も多く、次いで「家具の転倒」、「情報の入手方法」が続いた。



7

※「その他」との回答のうち、具体的な理由の記載があったものをカテゴリ分類した結果、概ね以下の5項目に分類された。なお、記入欄に複数理由が記載されている場合は、別々に計上し、無記載は除外した。



回答数としては、「ライフライン、食料・飲料に関する事」が最も多く、次いで「避難所に関する事」と続いた。

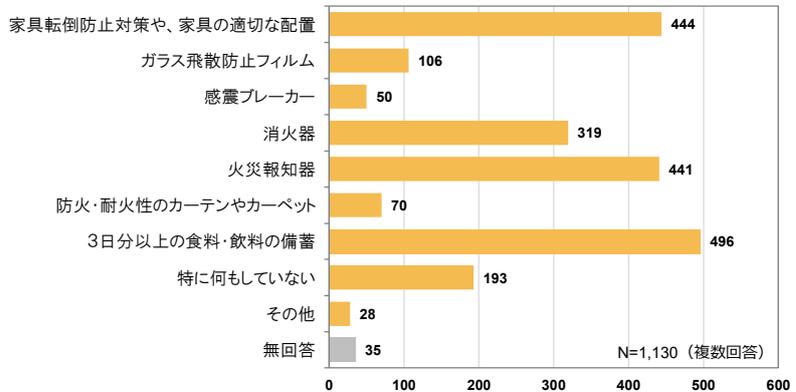
なお、「その他」の回答としては、以下のものが挙がった。

「会社からの帰宅」、「連絡が取れるか（家族などと）」

地震や火災に対する対策は、どのようなことを行っていますか。

【複数回答可】

「3日分以上の食料・飲料の備蓄」との回答が最も多く、次いで「家具転倒防止対策や、家具の適切な配置」、「火災報知器」が続いた。



8

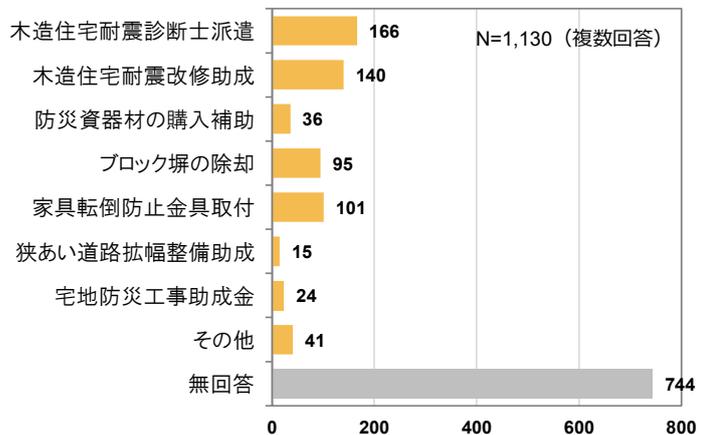
※「その他」については、概ね以下のような意見が挙げられた。

「発電機」、「ガスコンロ、カップラーメン等」、「簡易トイレ、非常持ち出しリュック、ヘルメット、くつ」、「防災リュックの用意」、「背の高い家具は置かない」、「水、10日分くらいの食料」、「ペットの対策」、「備蓄は1日分ほど」、「避難用具を準備しておく。年1回食品の期限点検など」、「電気自動車」、「浴槽の水を1日おきに入れ換え、180リッターほどの雑用水を常時保持している。また、登山用装備（テント、寝袋、灯油・ガスストーブなど）を点検維持し非常時に使えるようにしている。」、「避難グッズ、モバイルバッテリーなどの所持」

防災に関する補助制度を知っていますか。

【複数回答可】

「無回答」が最も多く、次いで「木造住宅耐震診断士派遣」、「木造住宅耐震改修助成」、「家具転倒防止金具取付」が続いた。



9

※「その他」については、「知らない」との回答が最も多く挙げられた。

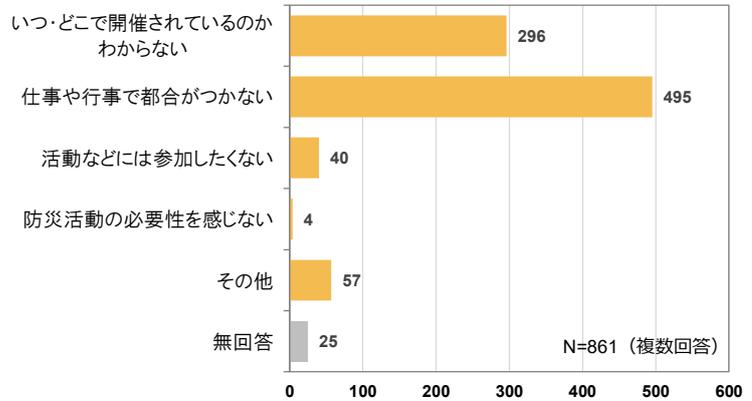
地域の防災活動についてお答えください。

1	<p><b>防災に関して、「自助・共助」という言葉を知っていますか。</b></p> <p>「聞いたことがあり、意味も理解している」との回答が40%と最も多く、次いで「知らない」、「聞いたことはあるが、意味は知らない」の回答が続いた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聞いたことがあり、意味も理解している</td> <td>455</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>聞いたことはあるが、意味は知らない</td> <td>298</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>知らない</td> <td>310</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>67</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N = 1,130</p>	回答内容	人数	割合	聞いたことがあり、意味も理解している	455	40%	聞いたことはあるが、意味は知らない	298	26%	知らない	310	28%	無回答	67	6%
回答内容	人数	割合															
聞いたことがあり、意味も理解している	455	40%															
聞いたことはあるが、意味は知らない	298	26%															
知らない	310	28%															
無回答	67	6%															
2	<p><b>馬絹町内会では災害時に地域で助け合うため、防災訓練や安全な避難、救助活動、避難所運営などの準備を進めていることを知っていますか。</b></p> <p>「はい」が44%、「いいえ」が53%という結果であった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>500</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>593</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>37</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N = 1,130</p>	回答内容	人数	割合	はい	500	44%	いいえ	593	53%	無回答	37	3%			
回答内容	人数	割合															
はい	500	44%															
いいえ	593	53%															
無回答	37	3%															
3	<p><b>あなたやご家族は、地域で実施される防災活動(防災訓練・防災まちづくり)に参加したことはありますか。</b></p> <p>「いいえ」との回答が最も多く、次いで「防災訓練」が続いた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いいえ</td> <td>861</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>防災訓練</td> <td>231</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>防災まちづくり</td> <td>33</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>29</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=1,130 (複数回答)</p>	回答内容	人数	割合	いいえ	861	76%	防災訓練	231	20%	防災まちづくり	33	3%	無回答	29	3%
回答内容	人数	割合															
いいえ	861	76%															
防災訓練	231	20%															
防災まちづくり	33	3%															
無回答	29	3%															

3で「いいえ」と答えた方にお聞きします。参加しなかった(できなかった)理由はなんですか。

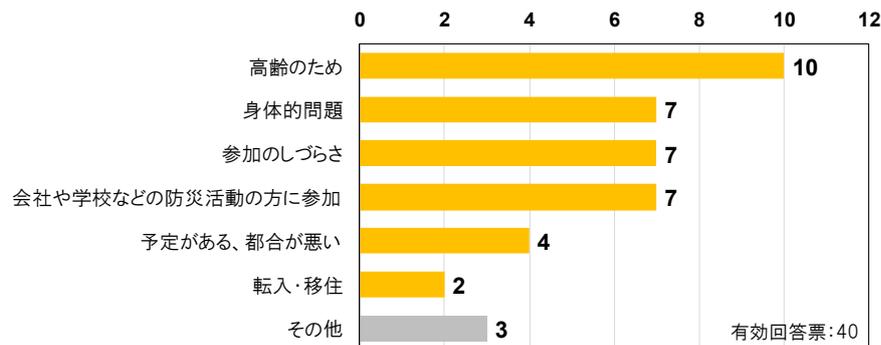
【複数回答可】

「仕事や行事で都合がつかない」との回答が最も多く、次いで「いつ・どこで開催されているのかわからない」が続いた。



4

※「その他」との回答のうち、具体的な理由の記載があったものをカテゴリ分類した結果、概ね以下の7項目に分類された。なお、記入欄に複数理由が記載されている場合は、別々に計上し、無記載は除外した。



回答数としては、「高齢のため」が最も多く、次いで「身体的問題」、「参加のしづらさ」、「会社や学校などの防災活動の方に参加」と続いた。

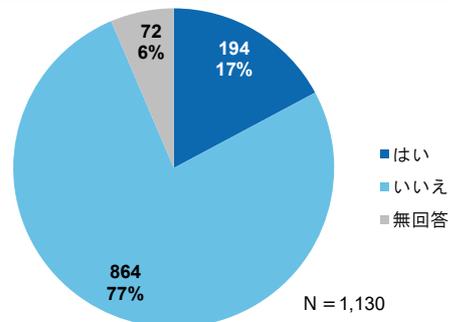
なお、「その他」の回答としては、以下のものが挙げた。

「連絡がない」、「仕事等で、逆にやっているのかと問いたい」、「ポスターなどでわかっていたが、カレンダーなどに書かぬまま気付いたら終わっていた」

5

馬絹町内会のホームページを見たことはありますか。

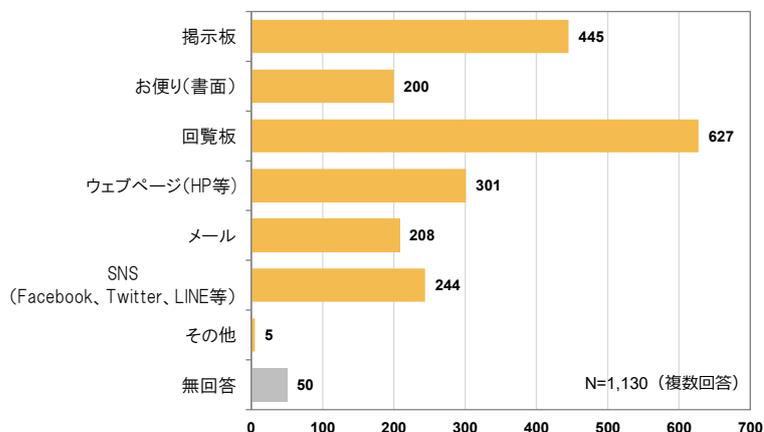
「はい」が17%、「いいえ」が77%という結果であった。



馬絹町内会からの情報発信の方法として、あなたにとって望ましい方法は何ですか。

【複数回答可】

「回覧板」との回答が最も多く、次いで「掲示板」、「ウェブページ（HP等）」が続いた。



※「その他」の回答としては、以下のものが挙げられた。

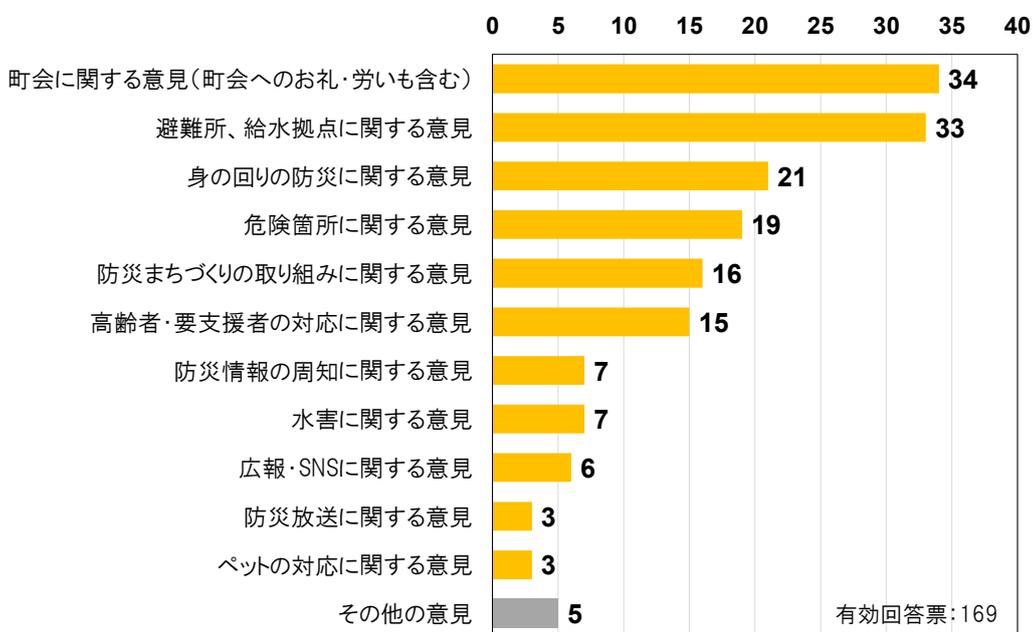
「状況によって望ましい方法は変わらと思う」、「回覧板は不在の家もあると思うので、回らないと思う」、「防災等のスピーカー音声が届きとれない」、「宮崎台小学校まで遠く、身近な避難場所や給水場所がよく分からない」、「お互いに助け合うように、又サポートが必要なご近所の人を把握できるような仕組みを作れると良いと思います」、「まとめた冊子があれば良いな」、「常時、情報の確認がとれる何か」、「今回の様なポストインは大変有り難いです」

**【自由記述】馬絹地区の防災まちづくりで今後取り組んでみたいことや、身の回りの防災について気になっていることなどについてご自由にお書きください。**

自由記述欄に記載された意見をカテゴリ分類した結果、概ね以下の12項目に分類された。

- ①町会に関する意見（町会へのお礼・労いも含む）
- ②避難所、給水拠点に関する意見
- ③身の回りの防災に関する意見
- ④危険箇所に関する意見
- ⑤防災まちづくりの取り組みに関する意見
- ⑥高齢者・要支援者の対応に関する意見
- ⑦防災情報の周知に関する意見
- ⑧広報・SNSに関する意見
- ⑨水害に関する意見
- ⑩防災放送に関する意見
- ⑪ペットの対応に関する意見
- ⑫その他の意見

回答数としては、「町会に関する意見（町会へのお礼・労いも含む）」が最も多く、次いで「避難所、給水拠点に関する意見」「身の回りの防災に関する意見」「危険箇所に関する意見」と続いた。



次頁より、カテゴリ別意見の具体的内容を示す。

①町会に関する意見（町会へのお礼・労いも含む）

- 毎年宮崎小学校で実施されている町内会防災訓練において参加している人はほぼ町内会役員だ。役員でさえ参加していない人が多いし、ほとんどの住民は防災意識・危機意識に無関心だと思われる。このような現状を町内会本部はどのように考えているのか
- こういうことはどんどんやってほしいと思う。今の世の中隣近所のふれあいがなくなっている。嫌な世の中だ
- 回覧板はあまり読んでいないので、Web や SNS にしたほうが良いと思う
- こういったアンケート及び公開に感謝します。ありがとうございます！
- いつもお世話になっておりありがとうございます。防災も進めてくださっているとのこと心強いです。今後ともよろしく願いいたします。
- 集合住宅の場合、町内会との関係は一部の住人を除いて希薄です。とりあえず回覧板をよく見るようにします。
- 町内会のホームページは知らなかった。
- 独居老人の方や外国の方の防災・避難誘導の対策はしっかりなされているのか気になっている。このような積極的な防災活動は、これからも進めてほしいです。
- このようなアンケートを区民にお知らせは地域の防災活動の一步踏み出した感じ。さらにきめ細かい情報をお願いいたします。
- 馬絹地区は他の町内会と比べると公園や文化施設、子供・老人のための施設が皆無といえる。災害の時の拠点としてまず整備することが必要と思う。
- 防災訓練には参加したい思いがありましたが、都合がつかず、回覧板での応募はしませんでした。その後都合をつけることができた場合、誰に言えばいいのかわからず、掲示板をみてもどこが集合場所か分かりませんでした。
- 地区外からの転入者に対し町内会活動に参加を求めること。役員諸氏が余り積極的でないことに、この防災活動アンケートについて若干の不安を感じるが…。
- HP を見てみる
- 断水したとき、どういう対処が地区、自治体で行うことになっているのか知っておきたい
- アンケートから出発… 1.出来るだけ具体的な数字を示すことで、災害時を想像でき、平時の取り組み（自助）が進む 2.2年、3年と継続した取り組みのために今回のアンケートから出発し、その都度、課題を示していくこと 3.一度、決めたことも毎年チェックして確認（報告）、継続性の研究を（例：一時避難所） 4.用語の共通認識も大事（例：一時避難所とは） 5.共通のものとして必要だが、今は無いもの等を明記すれば、協力が得られる場合も（共助） 6.非常時（通信システム、交通…）における情報伝達方法。馬絹町内会のシステムの確立、共有 7.『防災』のマンネリ化をどのように防げるか？アイデアを
- 町内会 HP の QR コードを初めて知りました。じっくり読んでみます
- 防災テーマと関連薄いですが、美化清掃回の活動様子を拝見しますと意識低下する
- 消防団活動はあるのですか？ここに住んでまだ浅いのでよく知らなくて…
- 町内会においてどの様な場所に、お水や防災道具が設置されているのか、くわしく知りたいです
- 子どもは梶小に通っているのですが、災害時は梶小に避難しようと考えているが、自治会が別なので、

防災訓練などの情報が入ってこないこと

- このアンケートで町内会のホームページがあることを知りました
- パソコン時代で、便利なことですが、身近に声かけ出来る人がいない。役員の方、いつもありがとうございます。お顔は知りませんが…
- このアンケートの用紙回収袋は回覧板中にありましたが、アンケート用紙はありませんでした。なぜでしょうか？ 11/12/2019
- 早速HPを確認してみます。ありがとうございました。
- 馬絹町内会のHPがあるのを知らなかった。これから見てみます。
- 掲示板の施錠が出来ておらず気になる。町内会の活動に参加したい参加方法がわからない。
- もっとこういうアンケート調査活動などを積極的に行って、若い人の意見も取り入れて欲しい。
- 特に日曜日（休日）多い方、普通の日では出席しづらい。私は土祝も仕事で、休みにくいところはある
- 今後、色々な行事に参加したいと思っている（都合が合えば）
- 以前、マンションで中山防災の方が来てくれて、消火器の使い方などを教えていただき訓練があり、とても為になった。出席率は悪かったが、定期的にやってもらいたい。
- 0歳児がいるので防災訓練に参加したいが、少しためらってしまう。（おむつ替えスペースや授乳室があれば参加したい）
- 特に心の準備もできていないので、少し不安です。働いていると、地区町内会の事に参加できればいいと思いますが、なかなかできないのが現実です。
- 今回のアンケートで知らないことの方が多いいことに気付かされた。宮前区のFacebookページをフォローして情報を得ているが、同じように馬絹地区の情報もSNSで得られたら便利だなと感じる。住んで間もないので、どこの誰に聞けば有意義な情報が得られるかもわかっていない。今後タイミングが合えば防災訓練などに参加していきたい。
- アンケート大変であった事と思いますが、実行に感謝しています。防災の集まりなどありましたら、お知らせをお願いします。

## ②避難所、給水拠点に関する意見

- スフィア基準の採用と実現
- 近くに広場がないのが不安。小学校は近辺の人たちだけで遠方からでは無理
- 馬絹地区の避難場所は概ね宮崎小だが、あの小さい小学校にどのくらいの人が避難できるのか不安だ。宮小に避難できなかった場合、どうすればよいのか知りたい
- 馬絹地区内の避難所は坂が大きな崖になっているが、大丈夫か。心配だ
- 避難場所の宮崎小学校にすべての住民（範囲内）が収容できるのか。気になる
- 避難所に入りきれぬのか
- 避難場所と人数の比率（指定避難場所に行って受け入れを拒否されることはないのか）
- 梶ヶ谷総学校と宮崎小学校のどちらに避難したらいいかわからない。詳細が知りたい
- 災害が起きたときに避難場所は分かっているが、多くの人々の場所を確保することが出来るかどうか気になっています。よろしくご意見をお願いします。
- 学校まで歩いて行くのは大変。宮前地区会館への避難場所としての検討を願いたい。

- 避難場所が宮崎小学校のみで、かなり遠く、細い道を通る方々は行き着けないのではと思いますが。
- 赤ちゃんがいるので、小さい子供連れで避難できる場所について知りたいです。
- 宮崎小学校（避難場所）への中に入ってからの避難経路が知りたいです。門はどこからでもはいれるのか、門から中庭を歩いてそのまま体育館に行ってもよいのか。実際の避難場所の写真（様子）が見たいです。（パーティションがあるのか、幼子や障害児専用のスペースはあるのかなど）
- 地区の広さに対し避難所が狭すぎる。（校庭も、がけの側はハザードマップに載っている危険ポイントのようだ）地区内に給水ポイントがない。仮設トイレは設置しても「あふれて」しまうことを想定に入れてください。
- 災害避難場所（宮崎小学校、宮崎中学校）が遠く、主人は腹膜透析、私は杖をついて歩いていかねばならず、もっと近くに避難所を作ってほしい。切に願う
- 近年、地域の人口が増えており、自宅以外の避難場所に収容できるのか心配です。倒壊した自宅での待機になってしまうと、食料の配布があっても、受けられない等、問題です。老人・子供等が必ず避難出来る場所を設ける取り組みが必要と考えます。
- 避難場所（宮崎小学校）に遠くて行けないと思う
- 指定された避難所が不便で遠すぎて行く気がしないし、行かない
- 避難所が遠すぎる
- 避難所の物資が一割はさすがに低いかもしれない
- 避難場所が宮崎小学校になっているが、地域の人口を考えると、到底入りきれない。もっと他にも場所を考えるべきではないかと思う（地区会館、保育園など）
- 実際に大災害が起きた場合、宮崎小学校だけでは、避難所は足りないと思う
- 避難場所が宮崎小学校ということをはじめて知った（所在も知らない）。場所的には梶小が近いが坂を下りなければならないので、安全を考えれば宮中・西梶小が実際には近いしフラットで安全
- この地域に住民票がなくても災害時に受け入れてもらえるのか
- マップを見た時に宮崎小付近の給水所が少ないような気がします。また、災害用井戸を活用するのに、どの程度安全なのか、どのような点検をしているのかなど、知りたいです。
- マンション居住者は避難場所の利用対象外という話を聞いたことがあるが、本当なのか。もし利用対象外なのであればマンション居住者への周知を徹底すべきだと思う。
- 気になっていることですが、我が家は宮崎小学校が避難所の地域なのですが、宮崎小学校は、災害時応急給水拠点になっていませんでした。急な災害時に、遠くまで歩いて行くとなると、とても不安です
- 馬絹周辺の、給水スパットをかくにんしたところ、馬絹から一番近い給水ポイントが、小台あたり、もしくは、宮前平小、と少し馬絹から離れている給水ポイントが多くみられたので、もう少し、近い場所で給水できる場所があってほしいと思います。
- 避難所に人数的に入れられないと思われるので、入れない場合どの様にしたらよいか不安
- マンションがどんどん建設されているので人口が増えて、避難所へ行ったとしても入れないと思います。入れる避難所を探し回るより逆に自宅にいた方が安全なのかなと思い、いいとは思わなけれど今の状況では避難せずに自宅にしようかと現段階では考えています。

- マップを確認したところ馬絹地区には給水所がない。
- 避難場所の宮崎小自体が古いので大丈夫なのか？心配になる。
- 避難所での女性への配慮(サンタリーなど)を忘れないことも大切だと思う。

### ③身の回りの防災に関する意見

- 日頃より防災意識を持ち、何か事があれば即対応できる知識・対応力を備えてなければならないと感じています。情報収集のツールとしては、やはりスマホが一番簡便・即時性に優れているのですが、災害時での通信障害の回避を懸念しています。
- 木造住宅耐震改修助成で耐震工事をした
- 隣近所の付き合いを大事したい
- 核家族世帯が増え、ご近所の方との接点あまり無いため、顔合わせ程度は実施しても良いかなと個人的には思います。
- マンション住人と他のマンション、戸建て住人との交流がない
- 町内で知っている人が限られており、いざとなった時どのような協力体制が組めるか不安である。
- 地震の際の火災は考えていなかった
- 停電になったときの外の明かりをどう確保するか？真っ暗になったら不安
- 空き家や草ぼうぼうなところが多いので、持ち主に早くなんとかしてほしいと思う。
- 実際に震災があった時の食料配布などに不安がある。
- 空き家がある周辺の様子。我が家もいずれは、と思うと少し心配
- 災害が起ってしまったら、しょうがないと思っている
- 食料、飲料、トイレ、家具の上に物を置かない。台風等にガラス防止する(テープ貼る) 植木等、飛ばされない様に
- マンションの屋上などでソーラー発電を設置し、停電時の電源として活用できたらいいなとは思っていますが、管理等のことを考えると管理組合が高齢化しているなど、新しい事をスタートするのは難しいように思っている
- もっと情報発信の方法を広く早く知って、いろいろと準備したいと思う。となり同士のお付き合いも大事にしたいと思います。
- 消火器は小さいもの
- 行政の補助制度を活用して、家で防災の対策を進めたい。
- 何となく食糧は備えているが、3日分の家族の人数分があるとは思えず、もう一度きちんと確認する必要があると思った。
- 避難場所は知っているが、家族のなかで具体的に連絡方法などは話し合っていないだったので、そのあたりも話さなければいけないと改めて思った
- (自宅に井戸はあるが) ポンプ故障中。
- 馬絹地区、当マンションでの取り組みや対策など(防止策等) 知っておきたい

### ④危険箇所に関する意見

- 北区の道路の道幅が狭く、緊急車両が通りにくい。セットバックは時間がかかると思うが、セッ

トバックが済んでいても住宅道路の電柱が交通の妨げになるため、どうにかできないかと思っている

- 馬絹にはリニアの大きな穴が通っているが、大きな地震がきて穴が空いたらどうすれば良いのか
- 古いお家のブロック壁
- 空家の老朽化による倒壊が心配です。また、不法者の住みつきやゴミの不法投棄、ノラ猫へのエサやりなど環境の悪化も危惧されます。
- 歩きたばこによるポイ捨てが多く見られ、火災に繋がらないか少し不安に思う。
- ブロック塀に不安を抱いています。坂道が多く道幅が狭いので不安です。
- 道が狭い。このままでいいはずない
- 狭く入り組んだ道が多いので、火災時に消防車が入ることができず延焼してしまうことが一番怖い
- 道幅の狭さを取り組んでいただきたい。電柱をずらす、どう考えても邪魔な木を切ってもらおう等
- 家の前の道路の中央部の小さなひび割れが気になっている
- 空家など、手入れされていない家のアンテナが落ちていたり、物が散乱していたりするので、災害時に危険だと思っています。
- ブロック塀や空き家等、老朽化した建物が地域に多いことが気になります。通学路の安全確保のためにも地域で取り組んで頂きたいです
- 馬絹 2-10-40 の近くの道路に面したブロック塀が傾いていて子供達を通るので、不安です（倒壊）
- 馬絹神社まわりの土砂崩れなど、災害マップによって災害メールがきたりして、心配です。土砂災害の対策などはないのでしょうか。
- 急な斜面や崖沿いに家を建てているのを見かけるが、そもそも危険な地域には住居を開発しない（公園など公共の場にする）ことも一案ではないかと思えます。
- 高圧電線がたくさんあるが、その辺は大丈夫なのか？気になる。町内会のところが特にイチヨウの落ち葉が多いので、近辺の方には火災には気をつけてもらいたい。
- 馬絹 1 丁目のマンションに生まれた時から在住しているが、まだまだ危険な場所が沢山ある。若い人が持病があり、あまり行動範囲はないが、最寄駅へ向かう道までで危険だと思う場所が多々ある。だいぶ良くなったところもあるが、最近では、宮前平駅に向かう裏道の古い建物や、それに伴う木々の倒木などが心配である。簡単に撤去は出来ないと思うが、ほかの場所でも、良く分からない空き地なども見かけることがあるので、他の地域とも協力して防災に役立てて欲しい。
- 4m幅の道路の確保
- 馬絹寺台公園のブロック塀が倒れて来るか不安がある。又、撤去できないのか知りたい

#### ⑤防災まちづくりの取り組みに関する意見

- 災害時治安維持活動（移民防止）
- 防災での取組にもっとたくさんの人に参加してほしい
- 防災訓練や安全な避難については是非参加したいと思えます。
- 情報伝達の仕組みを考える。→各家庭に項目毎に要点をまとめた書類 2～3 枚くらいを配布。（細

かな内容ではなく要点をまとめた書類) ※細かすぎると皆読もうとしないと思う。

- 避難所生活する際、運営に係りボランティアができるようここで保管されている物(簡易トイレ等)の使用訓練を行いたい。
- 防災まちづくりの取組に参加したい
- 歩きタバコなどによる火災、厳しく取りしまり、キレイな町にしていきたい
- 個人宅や街路樹で、倒れた場合に電線や電柱に影響があると思われるものは、チェックと対策が必要では？(台風15号での千葉県停電)
- ゴミ置き場の美化。
- 矢中上地区において火災発生の際、消火栓が必要ではないかと思気になるので、設置できるよう希望したい
- 防災士や救命士などの資格がある人がいて、スムーズな情報共有や災害対応ができるようなシステム作りが必要だと思う。馬絹地区で数日生き長らえるようなインフラ整備があれば安心
- ①一時(いつか)避難場所を決め、周知することで連絡がスムーズになる ②掲示板の活用を決めておく ③ボランティア等の他者の協力が受け易く、体制を検討準備しておく etc
- ご近所づきあいが希薄なので、まずは顔見知りになることができればと。そこから、防災や助け合いも広がっていきけるように思います。
- 災害時用トイレの確保
- ガソリンスタンド撤廃
- 電柱地中化

#### ⑥高齢者・要支援者の対応に関する意見

- 避難時に支援(手伝い)を必要としている方がどれくらいいるのか知っていますか？
- マンションの場合、どの程度倒壊するのか。どの部屋に住んでいるのか把握する必要性があり。高齢の夫婦で障害もあり、今の所に地方生活に問題ないが、被災後の生活がイメージできないが、自助できることは対策を考え実行する予定である。
- 自分や家族も心配だが、近所の一人暮らしの足の悪いおばあちゃんが心配。お手伝いしたい気持ちはあるが、迷惑だと思われぬかと躊躇してしまいそう
- 高齢の為、現在は自分一人の動きで大変です。若い人たちの手助けが必要な時、誰にたのむか分からないことがあります。そんなパンフレットがあれば大変助かります。宜しくお願い致します。
- 年寄りには情報が少ないと思う。お便り(書面)で知らせてほしいです。数多く
- 高齢のため地域の防災活動についてあまり知る機会がなく、知ってもなかなか参加するのも大変である。高齢者にもわかりやすく防災について知らせてほしい。
- とにかく坂が多くて自分では無理と思われる
- 高齢者のいる家に対する避難指示をどのようにして伝えてくれるのか、教えてほしい
- 高齢者の一人暮らしの方の家が草などで荒れてしまったりしているので、地域で助け合うことを年代の壁を越えて行っていけると良いと思います
- 介護職です。同じマンションで、介助が必要な方がわかれば、安否確認等、連携をとりながら動けるのかなと思います。個人情報等も問題はあるが、できる事は協力したいと思います
- 私はマンションの5階に住んでおりますが、エレベーターはなく、いざという時は部屋の中でじ

っとしている事しか出来ないと思います。住人は備蓄に対して反対派が多く、年寄りは何の方法もありません…

- 高齢で、戸建てに一人暮らししている方が多いことが気になる
- 持病のための薬が届かなくなることも困るが、現代はアレルギー疾患などを持っている方もいるので、配慮が必要だと思うし、例えば見た目では分からない若い糖尿病患者などは震災時に配布される普通の食事が出来ないが断れないという話を聞いたことがある
- 精神疾患を持っている方が家族にいる場合、避難所に行きたくとも行けないという意見もあるので、その辺りの対策も一緒に考えて欲しい。
- 高齢者が多いし、交流の無いこと（場所）が問題。

#### ⑦防災情報の周知に関する意見

- 「延焼クラスター」に関して、ネット上で確認しても地域が広がりすぎているために馬絹地区一部となっている部分がわからない。川崎市単位ではなく、宮前区のマップがほしい。また配布してほしい
- 対策として感震ブレーカー、防火・耐火性カーテン、カーペットにするための費用などが出されると備えやすいのではないか
- 子供のいない家庭は情報収集ができにくい
- ハザードマップに載ってるまま放置されてる場所が気になる
- マップに公衆電話（屋外）の位置も表示してほしい。
- 飲料水のボックスが街々にありますが、防災地図には馬絹地区には一か所も設置がないように思いますが…。
- 情報発信の方法で、閲覧するのはとても大変な作業なので、web を使った仕組みが必要と思います

#### ⑧広報・SNS に関する意見

- マンションのため、閲覧板で回す内容を掲示板のところにぶら下げる運用で、いつどのような情報が来ているか把握できない。町内会 HP もたまに見に行くが、更新のタイミングで情報が変わっているとも言いきれず、メールがプッシュ型の通知で知らせてもらえるとありがたい。Facebook は個人情報取り扱いの観点から NG
- 地区の防災 HP の確認等
- LINE で周知してもらえば若い人にも取り組みやすいと思う。
- 災害が起こったときに、学校から一斉メールのような情報を共有できるツールがあると便利だと思います。避難所の開設・混み具合・支援物資の供給等の情報をどのように受け取ることができるのか不安な面があります。
- 台風の時などの町内放送は全く聞こえないので SNS 等のツールを使ってお知らせしてもらえると助かります
- アンケートにあるような情報をどんどんアピール（公報等）してほしい。知らない事が多かった

### ⑨水害に関する意見

- 用水路
- 大雨の時、尻手黒川線からの水が川に流れ込み、川の水がすぐにいっぱいになる。水はけが良ければと思う。あふれると床下まですぐに来ると思う。交通も大変だ
- 自宅が尻手黒川道路沿いだが、大雨等で雨量が非常に多くなると、尻手黒川道路が溢れた水で川のように建物敷地内に侵入してくる恐れがあり、かなり危惧している ※近くの矢上川が雨水を処理しきれていない！（宮前平付近から溢れた雨水が流れているようだ）
- 矢上川の氾濫への認識、現在の河川局の対応と施行実績／報告 あまり知らない？
- 区民が使用できる土嚢の配置、矢上川地下調整池の状況
- 水路（川などから）の冠水などの安全が気になっている
- 前回の台風の際に、水害が不安でした。

### ⑩防災放送に関する意見

- 川崎市防災センターからの屋外放送（？）が、風向きや騒音などで聞こえない（聞こえにくい）
- 今年の台風時に公報？の車が情報を流して回っていたようですが、全然、聞き取れませんでした。運行しながらアナウンスしていても風や雨で流されて聞こえません。ポイントに止まって流すなど、住人が聞き取りやすい方法を！
- 防災無線が全く聞き取れません。

### ⑪ペットの対応に関する意見

- マンションなどで多くの人が犬を飼っているが、地震などで家族全員倒れてしまい、野良犬になったら他の人が危険を感じる。
- ペットを連れての避難に関する事
- ペットを飼っている場合、避難所に行きたくとも行けないという意見もあるので、その辺りの対策も一緒に考えて欲しい。

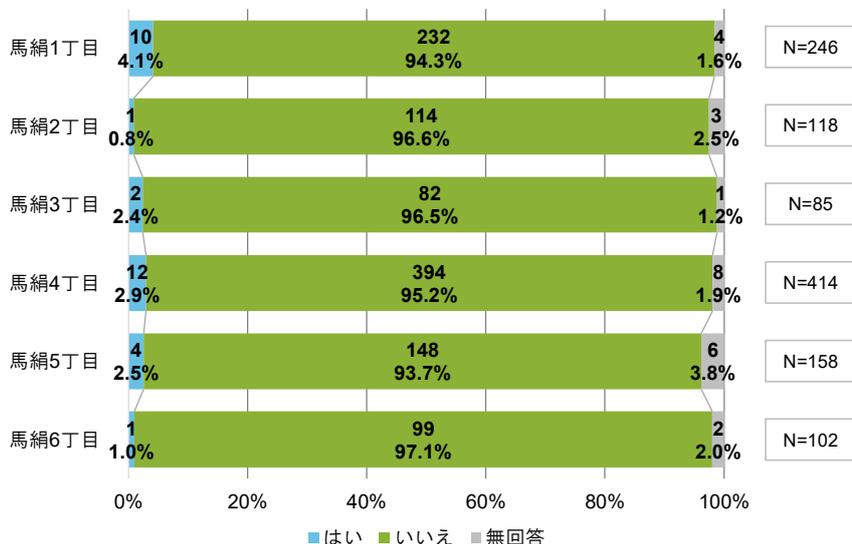
### ⑫その他の意見

- 緑化（植樹、公園、農地） 、災害を想定した人口制限（転入）、共同ソーラーパネル、オフグリッド
- 現在、同じ消費生活協同組合員同士で防災・減災の取り組みのため、定期的に集まっています。地域の状況をさらに理解したいと思っています。
- 自助、共助は当然、大事なことであるが、行政が何もしなくて良いことではないと思います
- 川のそばに住んでいるものですが、今まで二年に一度ぐらいに内側の草を取り除いていたが、ここ何年もしていない。
- 災害時に利用できる井戸は、停電でも使えますか？

## 【クロス集計】 地区別集計

### ■ご自宅に井戸はありますか。

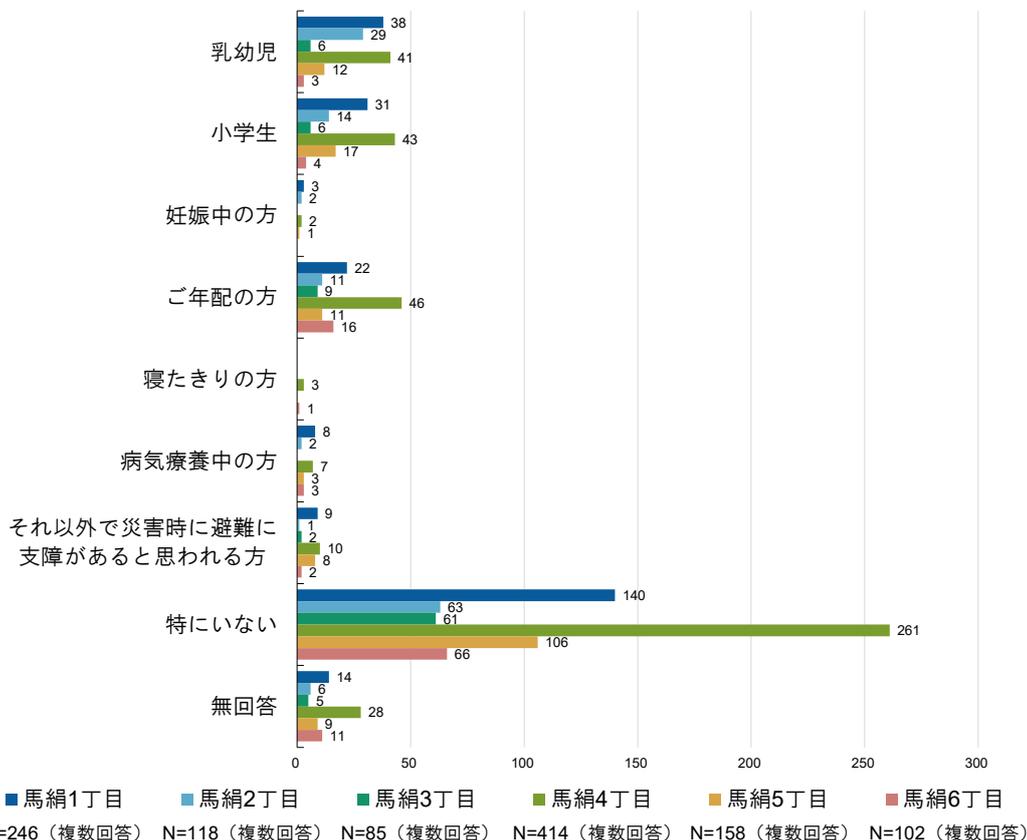
井戸の実数は、馬絹1丁目（10基）、馬絹2丁目（1基）、馬絹3丁目（2基）、馬絹4丁目（12基）、馬絹5丁目（4基）、馬絹6丁目（1基）であった。



### ■同居のご家族の中（自身を含む）に、避難時に支援（手伝い）が必要な方がいますか。

#### 【複数選択可】

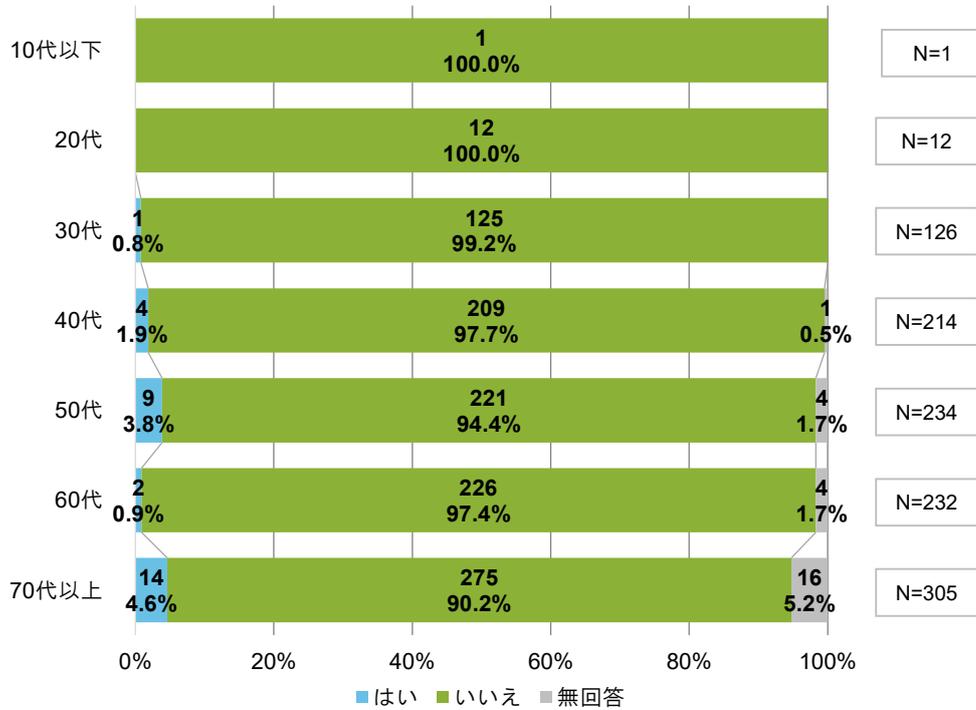
馬絹1丁目、馬絹4丁目にて「乳幼児」、「小学生」、「ご年配の方」、「病気療養中の方」、「それ以外で災害時に避難に支障があると思われる方」との回答が比較的多い。



## 【クロス集計】年齢別集計

### ■ご自宅に井戸はありますか。

高齢世代ほど井戸の保有率が高い。



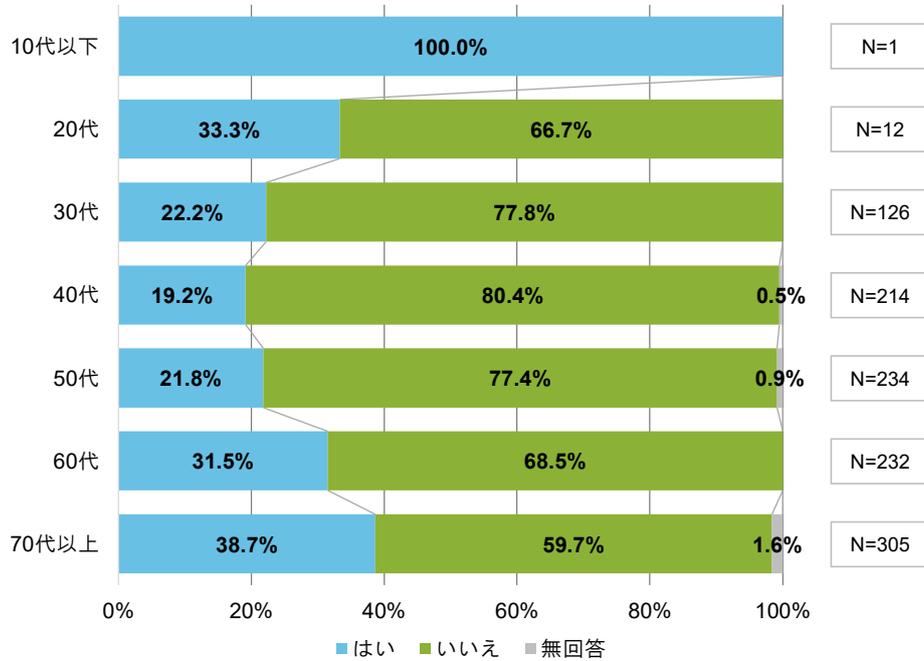
### ■馬絹地区で想定される災害について、ハザードマップや防災マップで確認していますか。

70代以上の回答者を除く年代で、半数以上の方が確認していることがわかる。



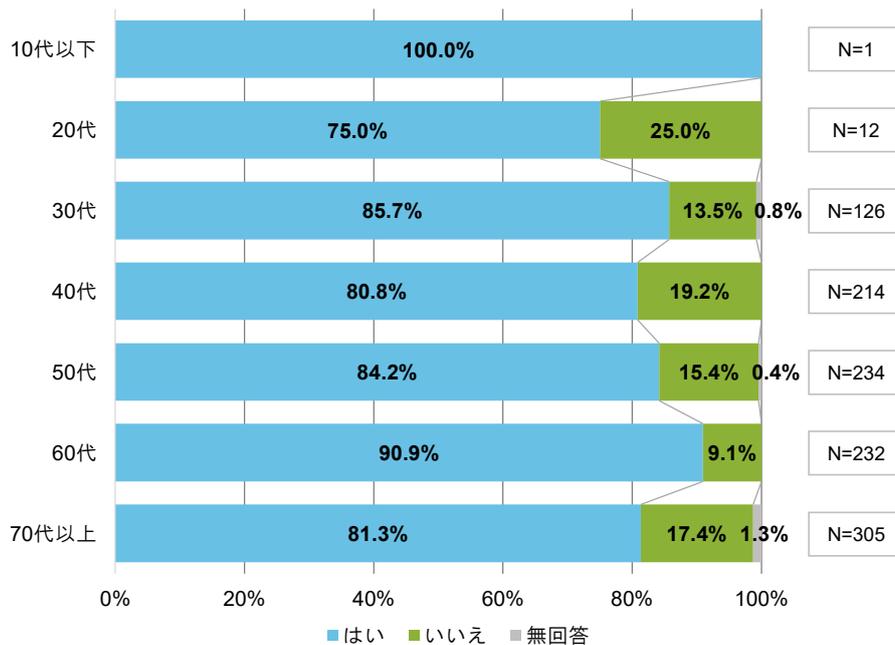
■馬絹地区は大規模な地震等が起きた際に、大規模な火災延焼の恐れがあることを知っていますか。

10代以下を除く、各年代とも認識が低いことがわかる。特に、30代・40代・50代で「はい」との回答率は低い。



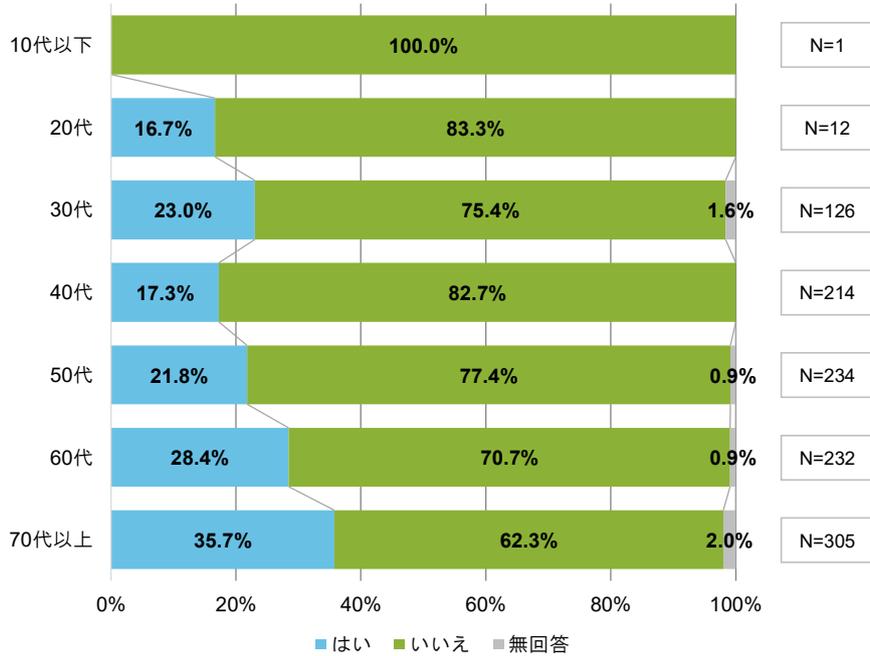
■今後30年以内に震度5～7程度の地震が発生する確率が70%と知っていましたか。

全年代とも「はい」との回答率が高く、広く認識されている。



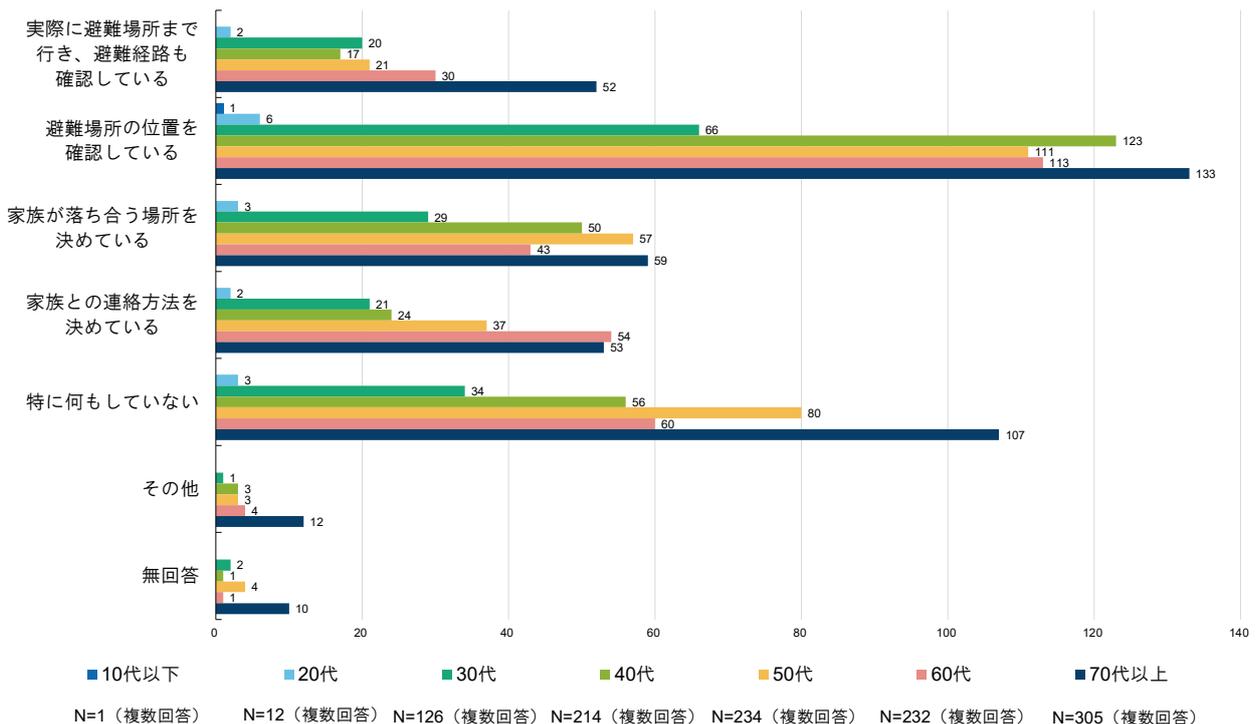
■避難所で備えている物資は、人口の1割程度と知っていますか。

全年代とも「はい」との回答率が低く、特に20代・40代における認識が低いことがわかる。



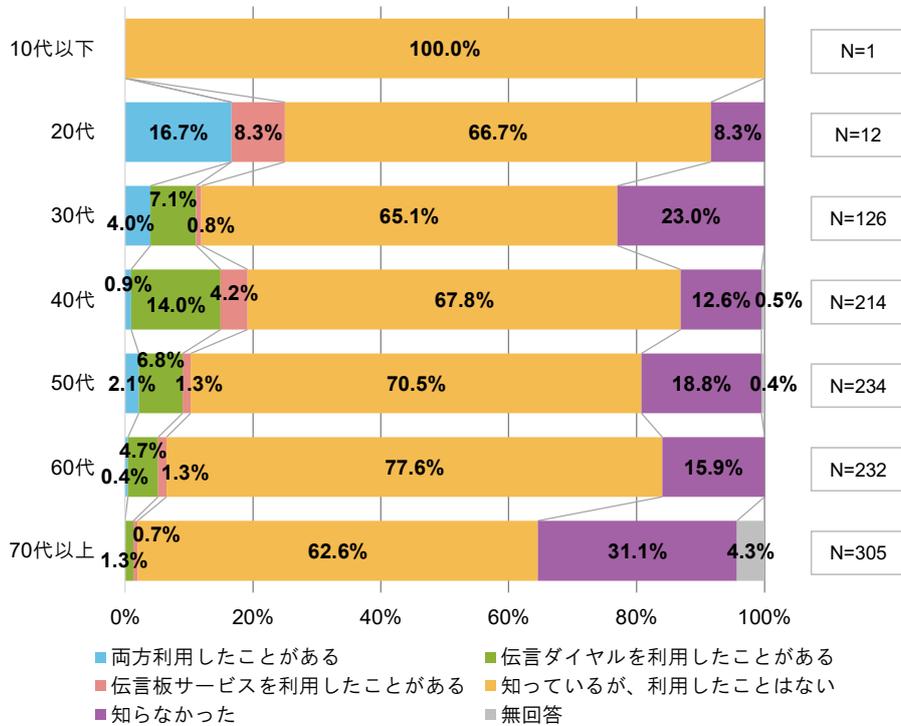
■あなたやご家族は、自宅以外の場所へ避難しなければならない事態に備えてどのような対策をとっていますか。【複数選択可】

各年代とも「避難場所の位置を確認している」との回答が多い一方、「特に何もしていない」との回答も比較的多い。



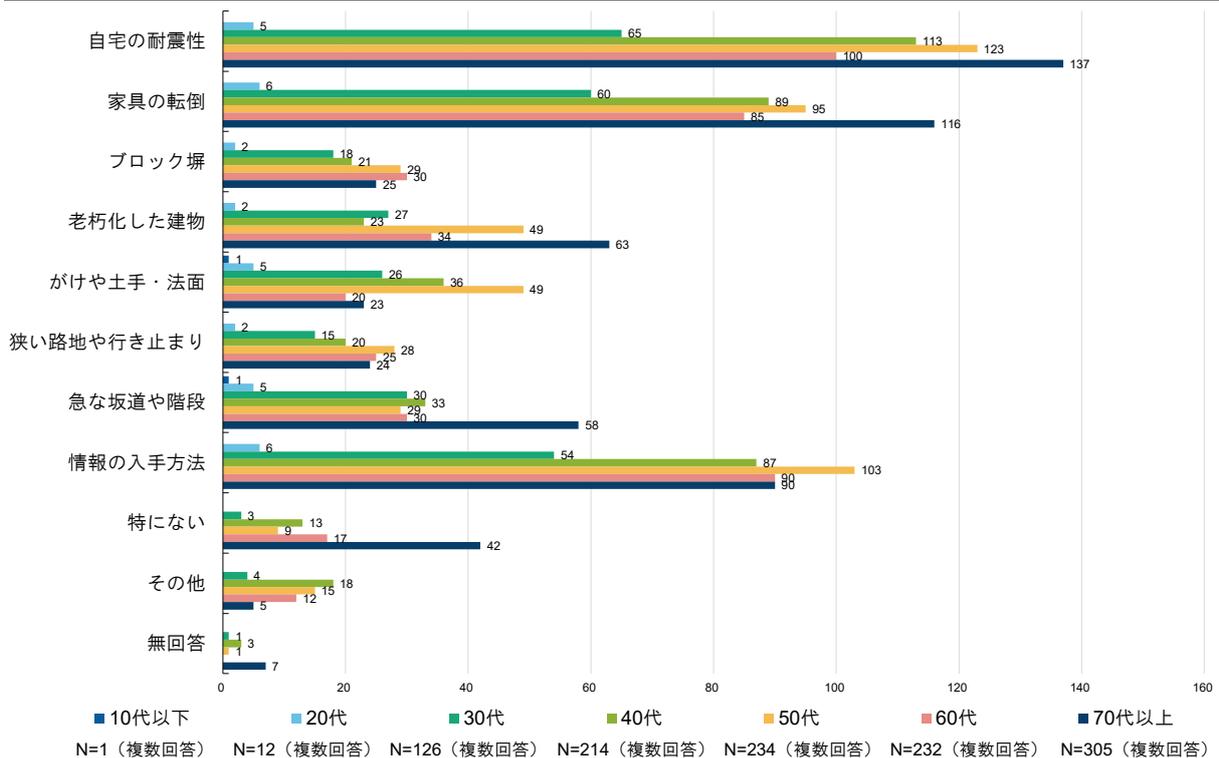
■災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板サービス「WEB171」を利用（体験利用を含む）したことはありますか。

各年代とも「知っているが、利用したことはない」との回答が多い。



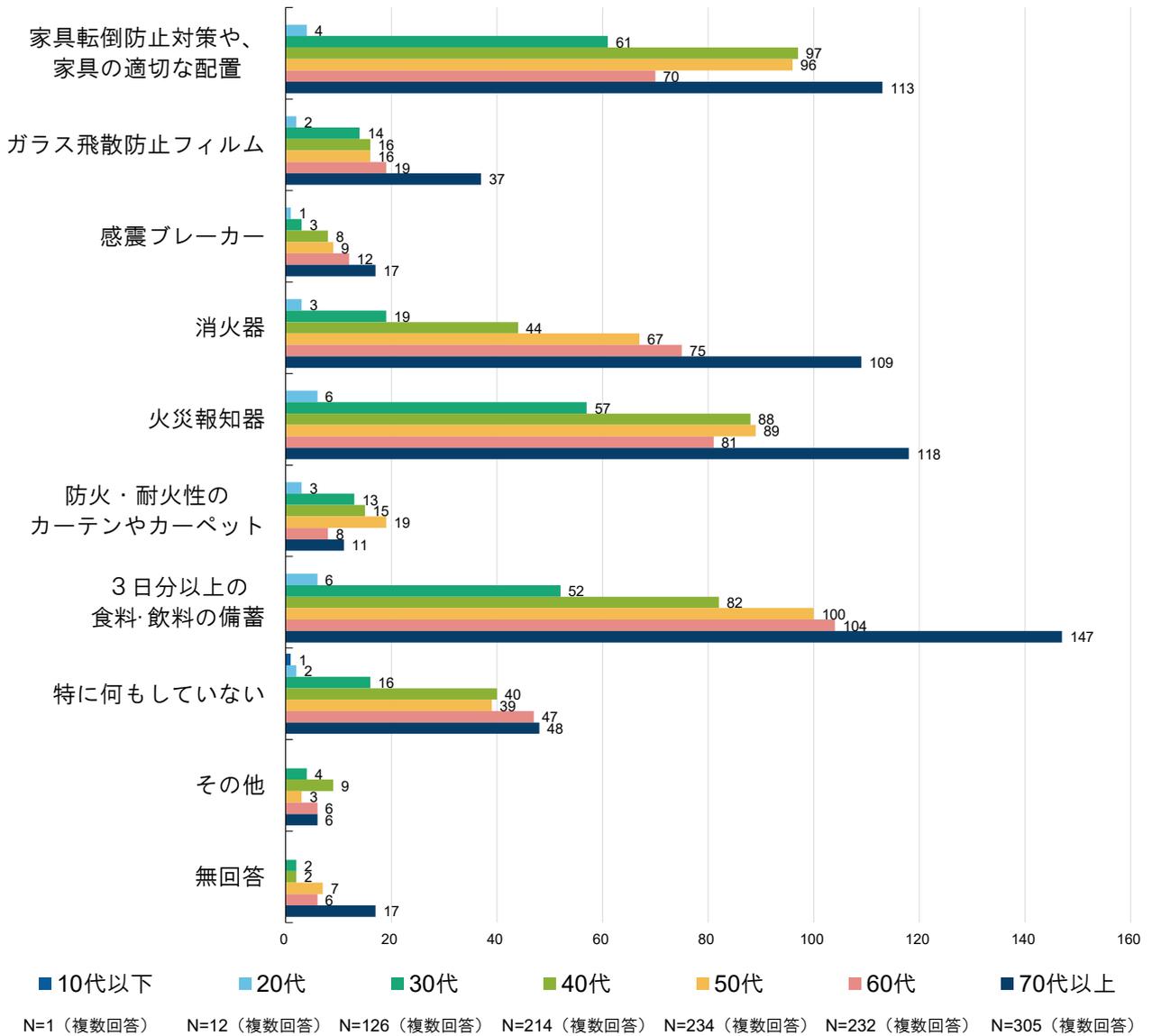
■災害が起きた時、身の回りで気になることはありますか。【複数選択可】

各年代とも「自宅の耐震性」、「家具の転倒」、「情報の入手方法」との回答が多い。



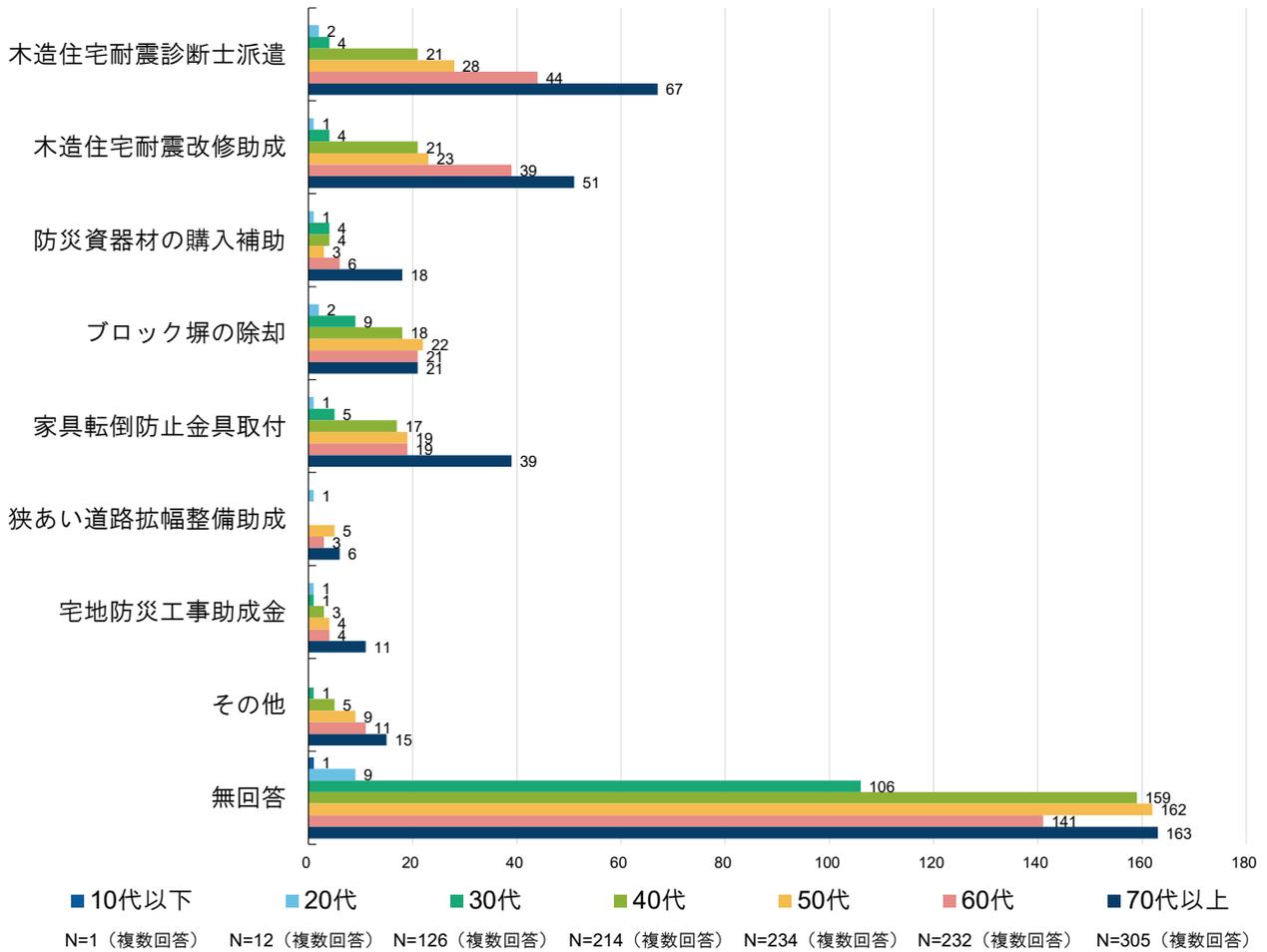
■地震や火災に対する対策は、どのようなことを行っていますか。【複数選択可】

各年代とも「家具転倒防止対策や、家具の適切な配置」、「3日以上の食料・飲料の備蓄」、「火災報知器」、「消火器」との回答が多い。



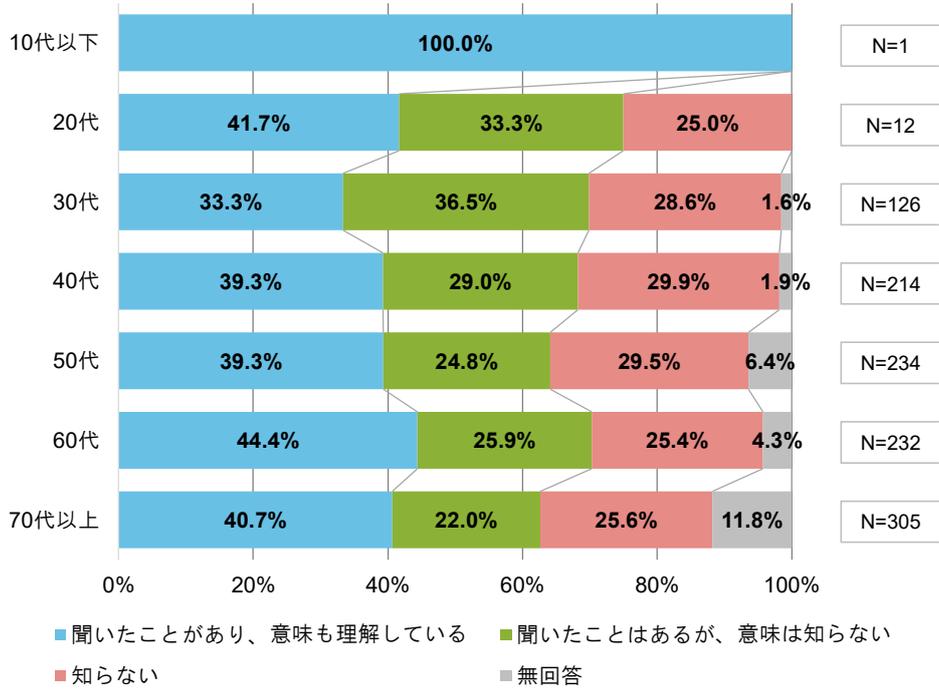
■ 防災に関する補助制度を知っていますか。【複数選択可】

若年世代ほど認知度が低い傾向にあるが、全体として無回答が多い



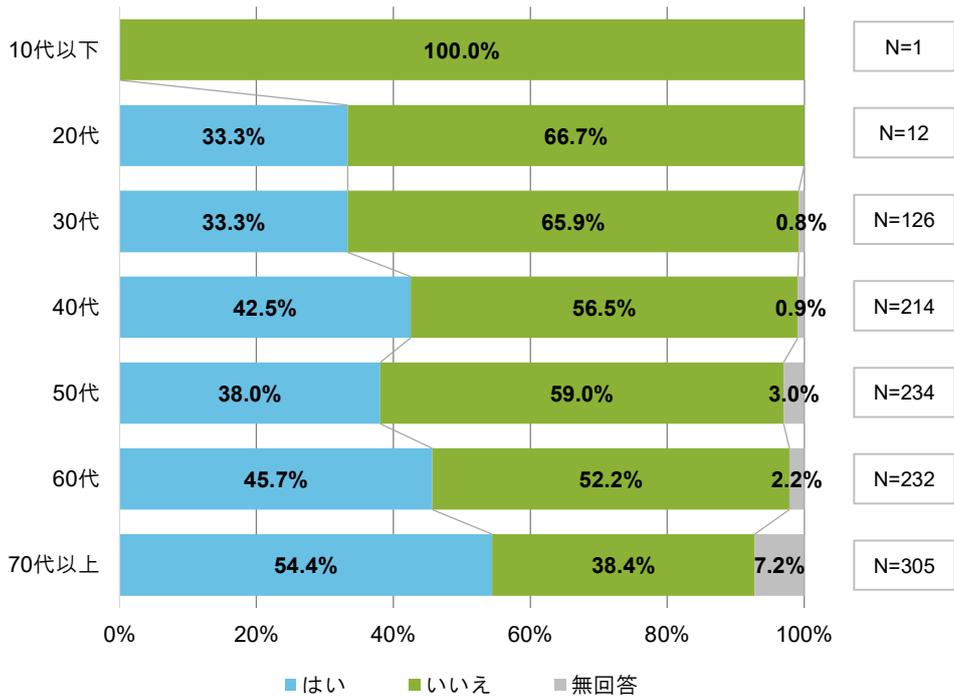
■防災に関して、「自助・共助」という言葉を知っていますか。

各年代とも「聞いたことがある」との回答者が多く、言葉は比較的認識されている。



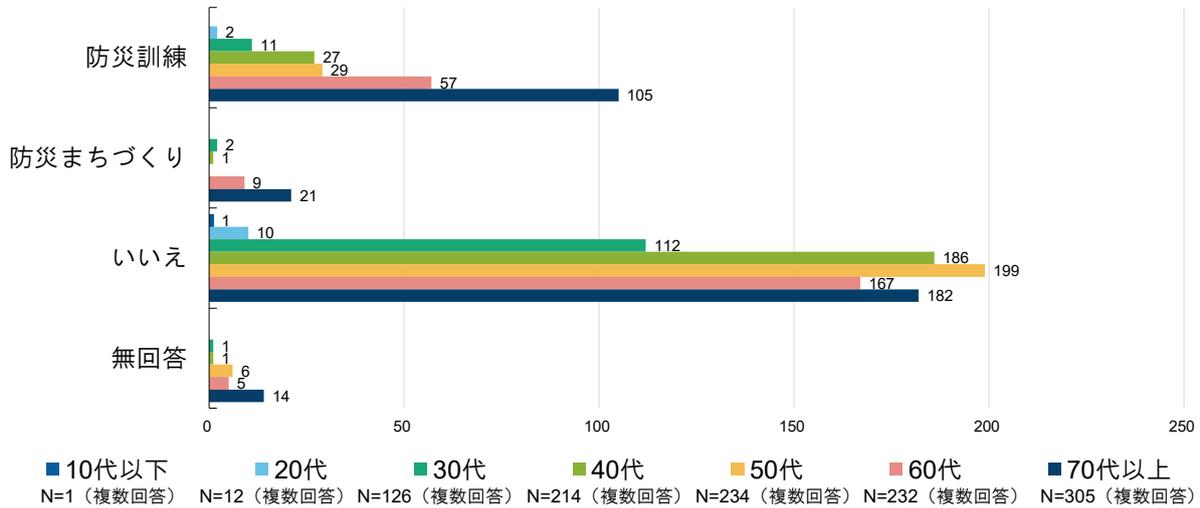
■馬絹町内会では災害時に地域で助け合うため、防災訓練や安全な避難、救助活動、避難所運営などの準備を進めていることを知っていますか。

70代以上では、約半数の方が認識されている。一方、他の年代では「はい」の回答率が低い。



■あなたやご家族は、地域で実施される防災活動（防災訓練・防災まちづくり）に参加したことはありますか。【複数選択可】

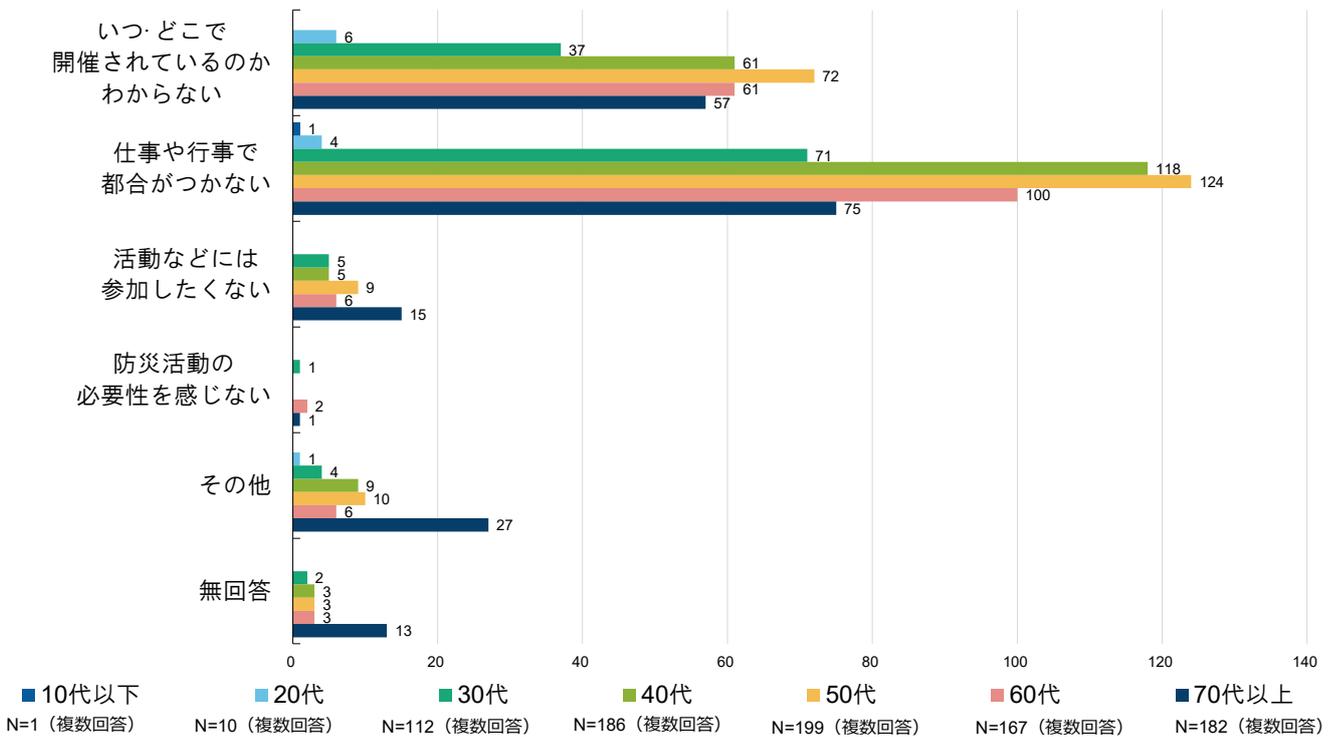
全年代において「いいえ」との回答が多い中、70代以上では「防災訓練」の参加数が比較的多い。



□（上記で「いいえ」と答えた方）にお聞きします。

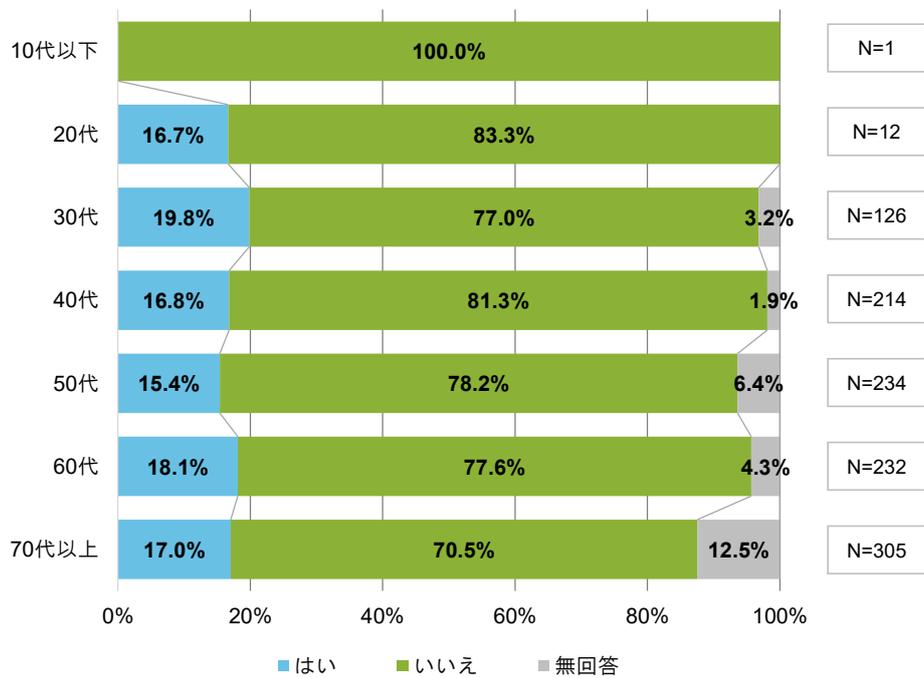
参加しなかった（できなかった）理由はなんですか。【複数選択可】

全年代において、「仕事や行事で都合がつかない」、「いつ・どこで開催されているのかわからない」との回答が多い。



■馬絹町内会のホームページを見たことはありますか。

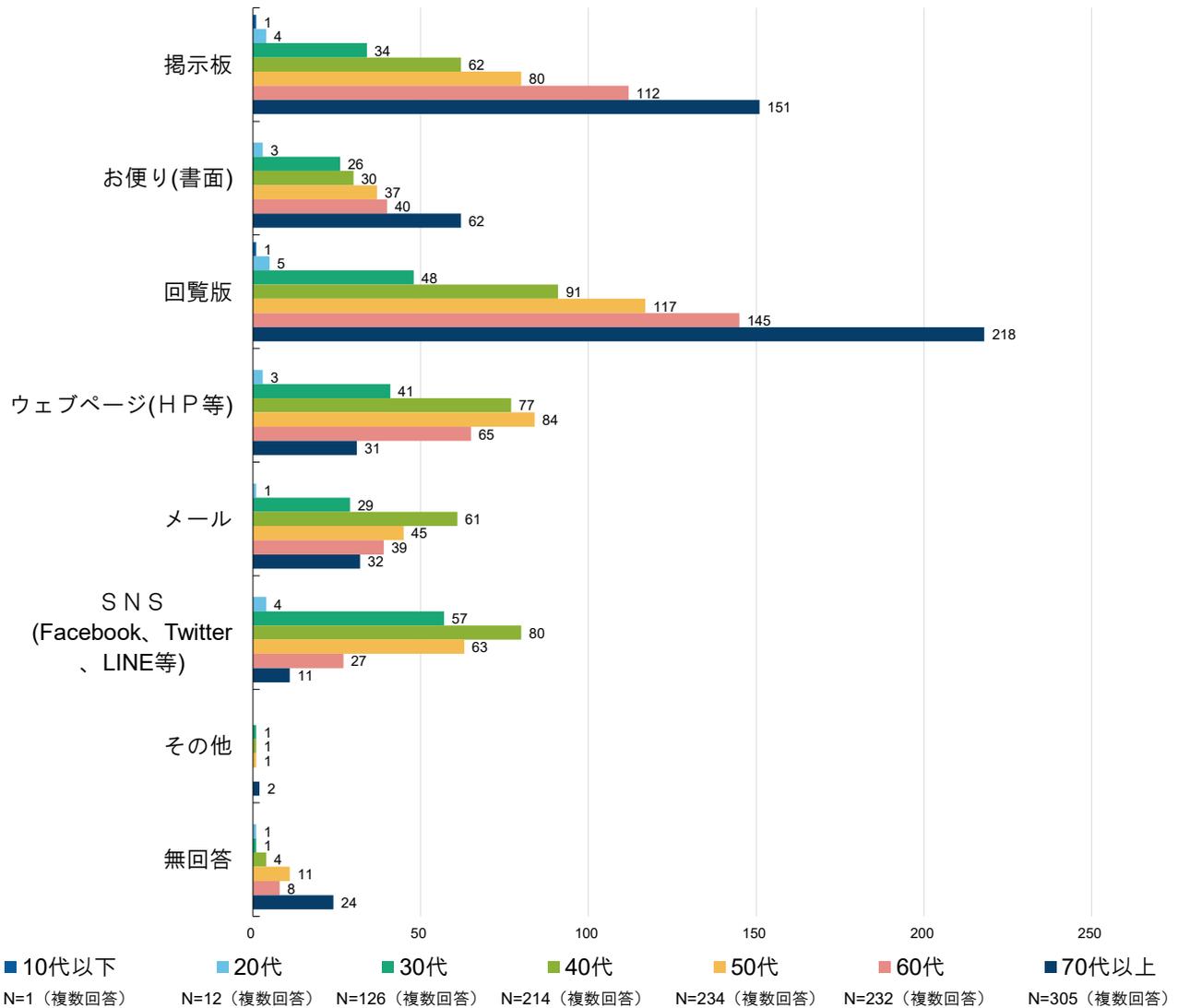
全年代とも「はい」との回答率が低く、閲覧されていない。



■馬絹町内会からの情報発信の方法として、あなたにとって望ましい方法は何ですか。

【複数選択可】

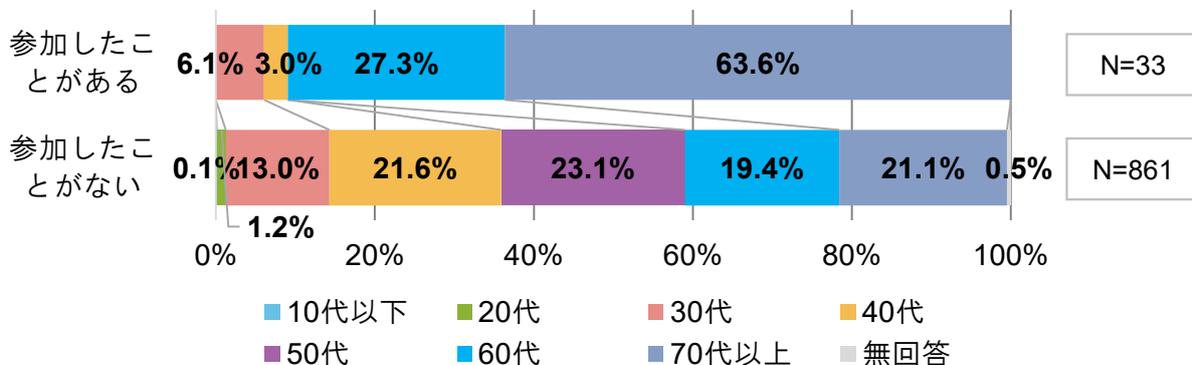
回覧板・掲示板が多い傾向にあり、特に70代以上の方が望んでいる。



## 【クロス集計】防災まちづくり参加の有無別集計

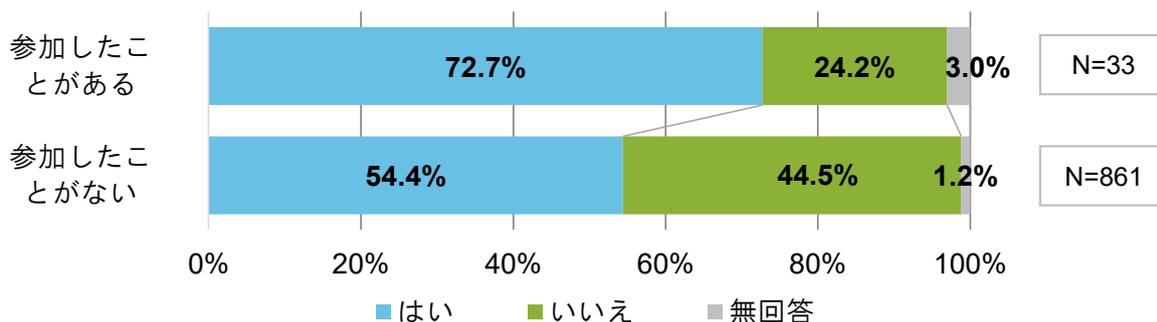
■あなたの（ご回答者）のご年齢を教えてください。

防災まちづくりの参加率は、70代以上が比較的高い。



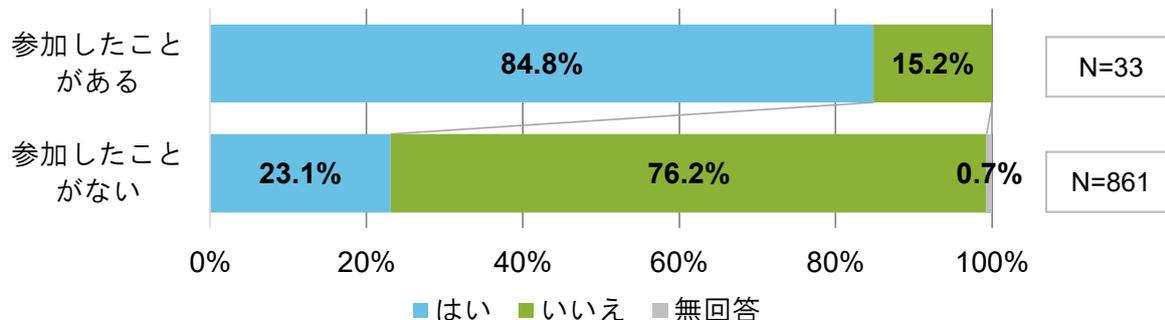
■馬絹地区で想定される災害について、ハザードマップや防災マップで確認していますか。

防災まちづくりに参加したことがある方ほど、「はい」との回答割合が高い。



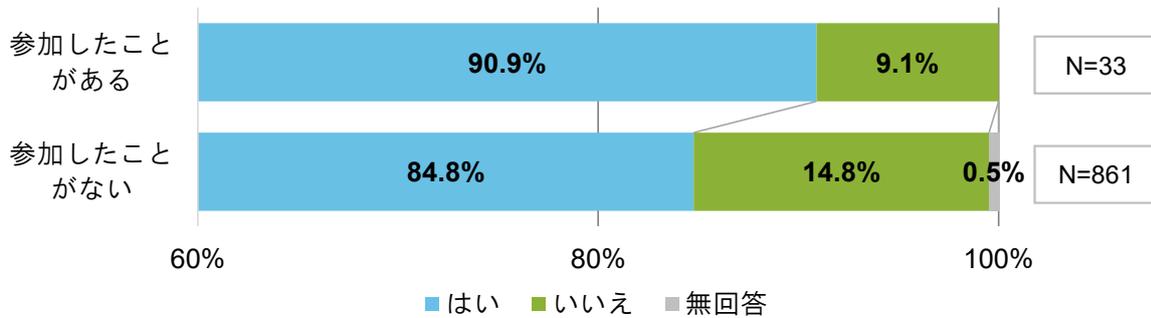
■馬絹地区は大規模な地震等が起きた際に、大規模な火災延焼の恐れがあることを知っていますか。

防災まちづくりに参加したことがある方ほど、「はい」との回答割合が高い。



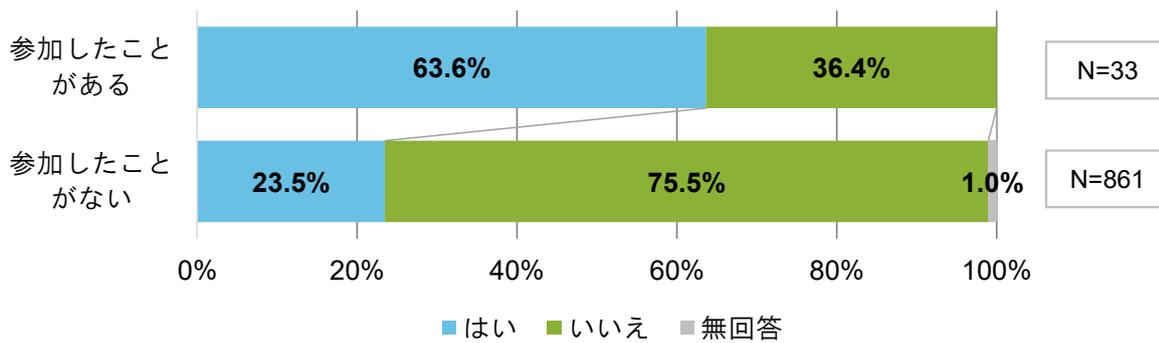
■今後 30 年以内に震度 5～7 程度の地震が発生する確率が 70%と知っていましたか。

防災まちづくりに参加したことがあるか、ないかに関わらず、「はい」との回答率が高く、広く認識されている。



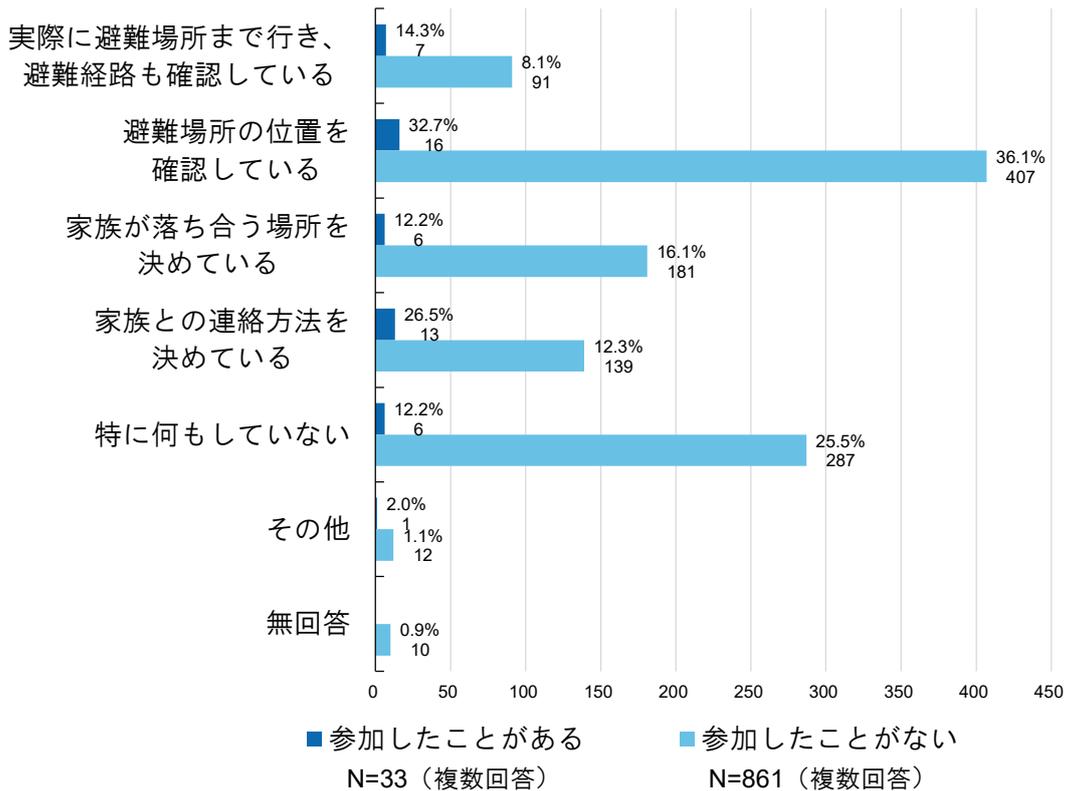
■避難所で備えている物資は、人口の 1 割程度と知っていますか。

防災まちづくりに参加したことがある方ほど、「はい」との回答割合が高い。



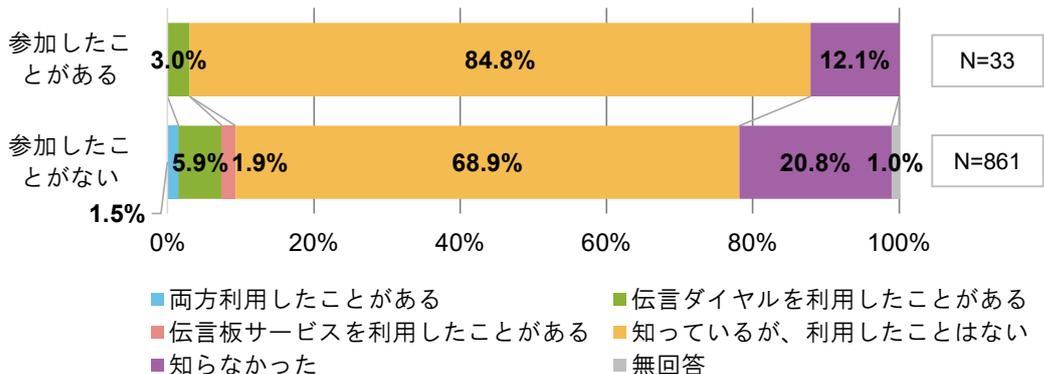
■あなたやご家族は、自宅以外の場所へ避難しなければならない事態に備えてどのような対策をとっていますか。【複数選択可】

防災まちづくりに参加したことがあるか、ないかに関わらず、「避難場所の位置を確認している」との回答が多い。  
一方で防災まちづくりに参加したことがない方の「特に何もしていない」との回答が比較的多い。



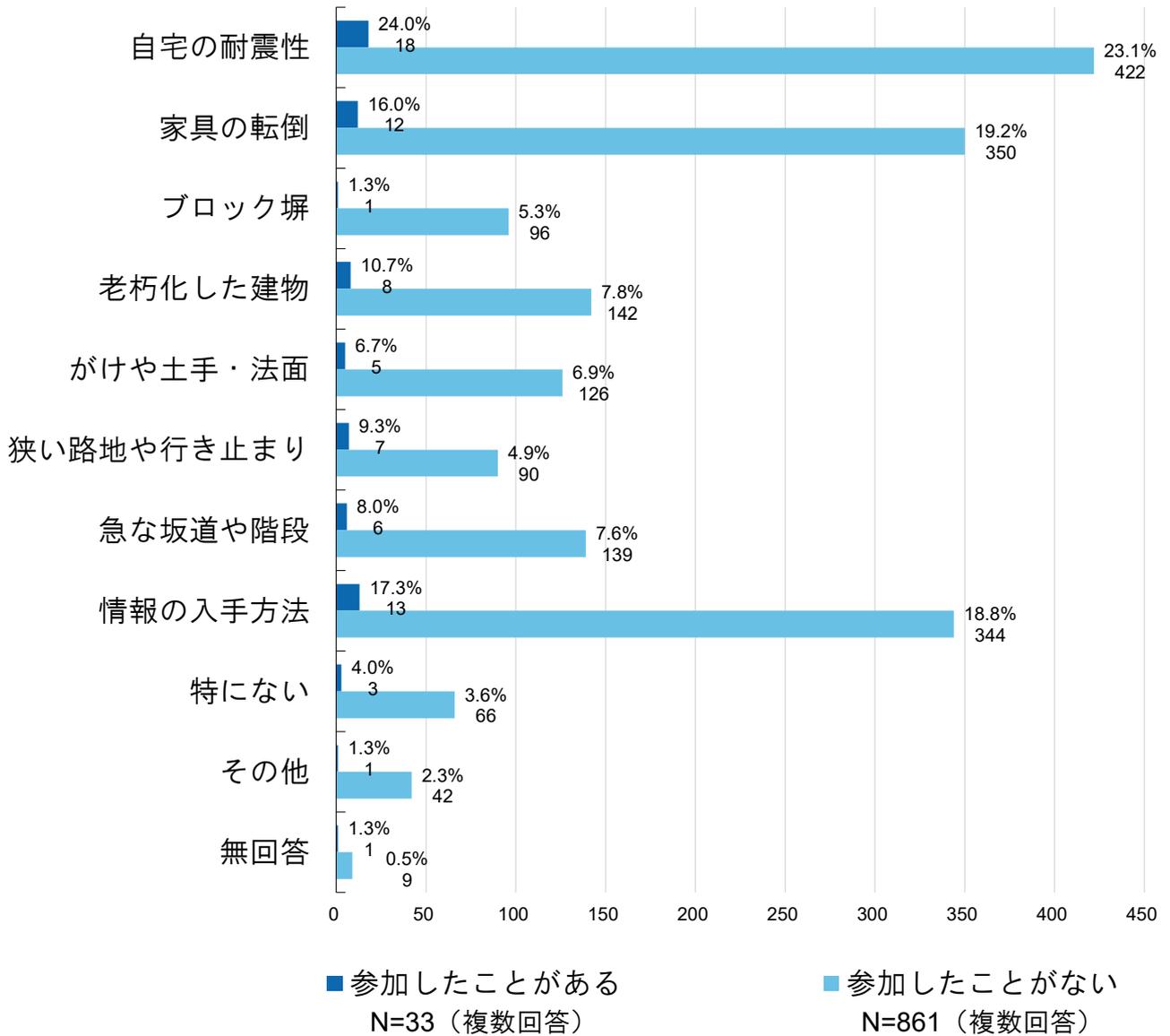
■災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板サービス「WEB171」を利用（体験利用を含む）したことはありますか。

防災まちづくりに参加したことがあるか、ないかに関わらず、「知っているが、利用したことはない」との回答割合が高い。



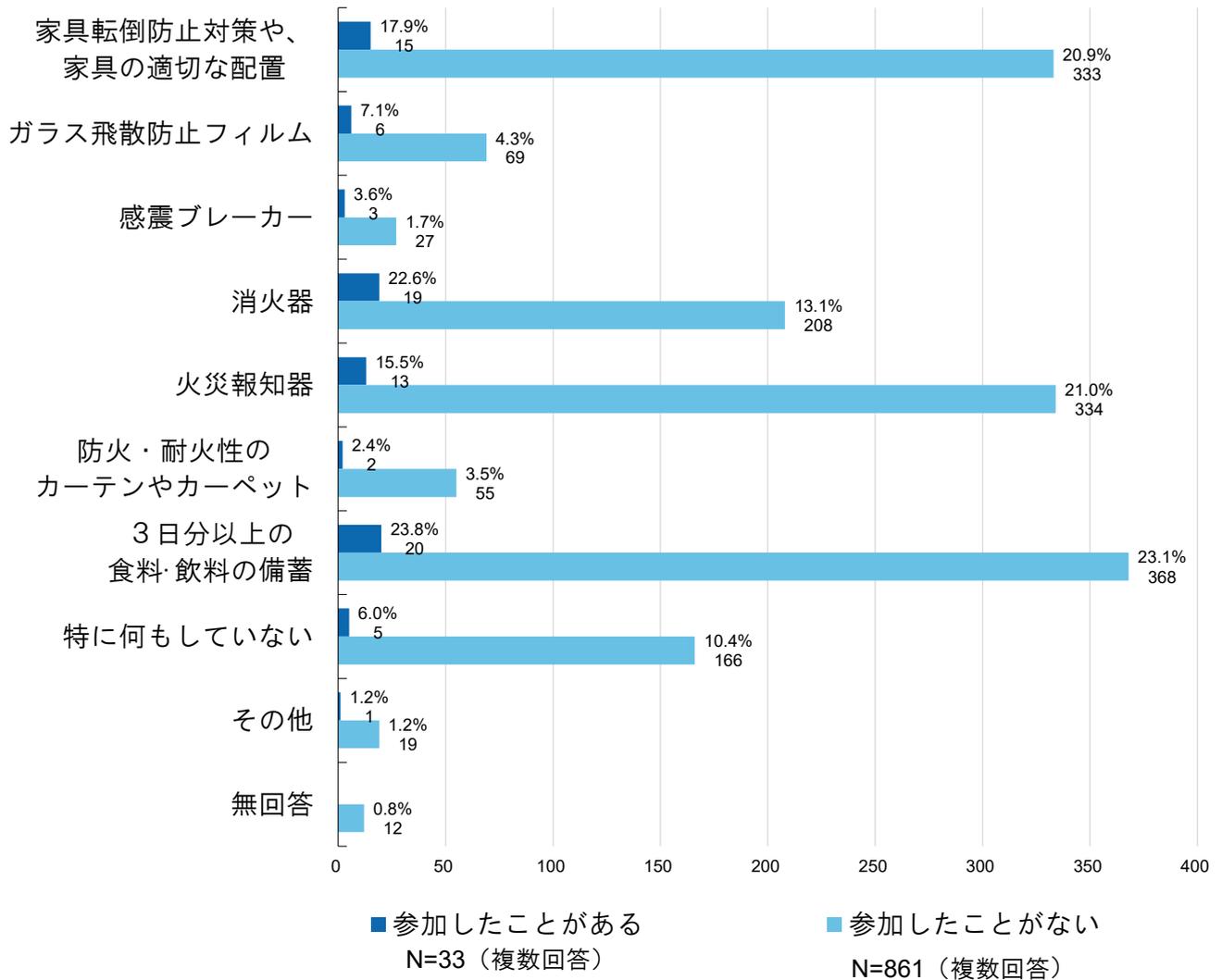
■災害が起きた時、身の回りで気になることはありますか。【複数選択可】

防災まちづくりに参加したことがあるか、ないかに関わらず、「自宅の耐震性」、「家具の転倒」、「情報の入手方法」との回答が比較的多い。



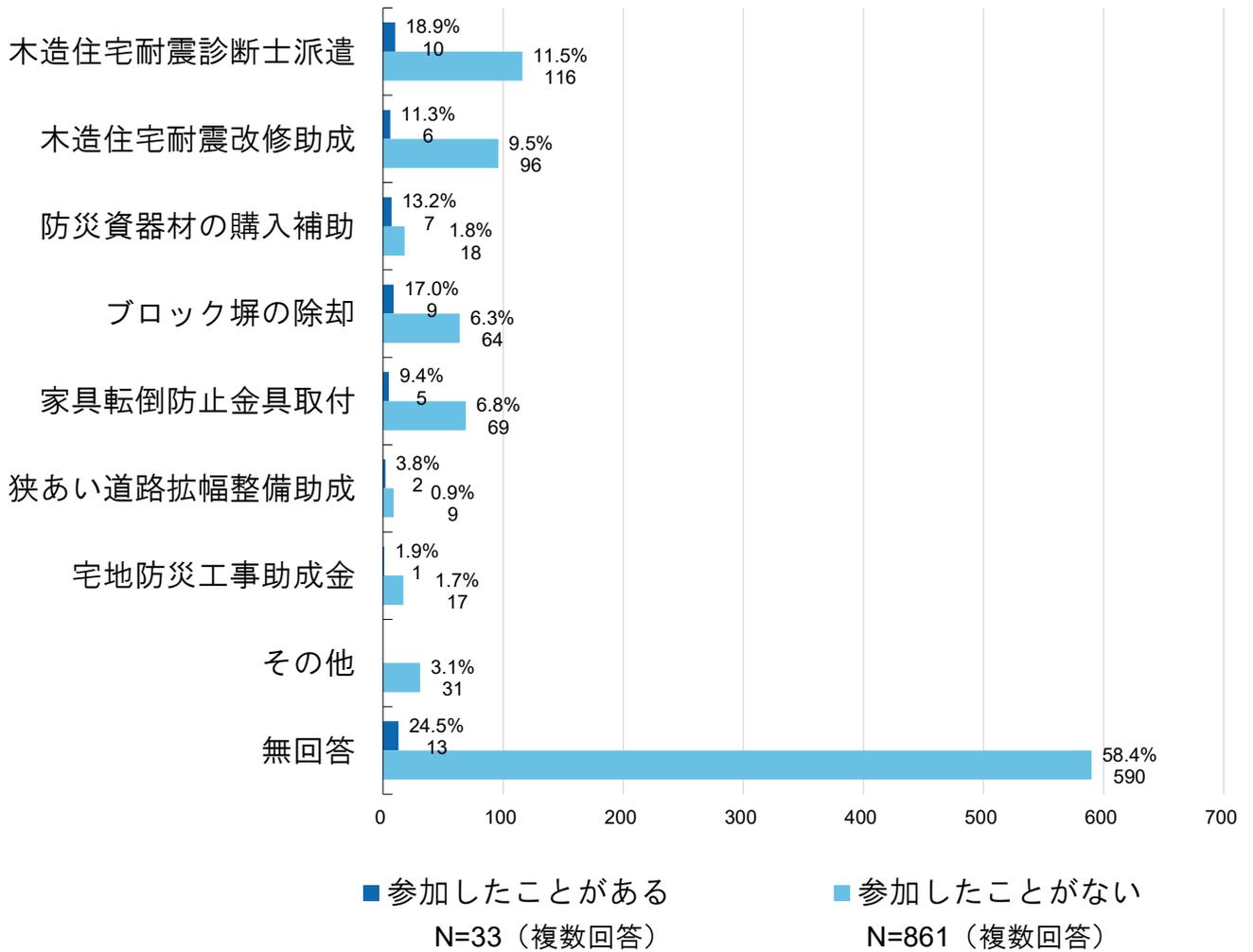
■地震や火災に対する対策は、どのようなことを行っていますか。【複数選択可】

防災まちづくりに参加したことがあるか、ないかに関わらず、「家具転倒防止対策や、家具の適切な配置」、「3日分以上の食料・飲料の備蓄」、「火災報知器」、「消火器」との回答が多い。



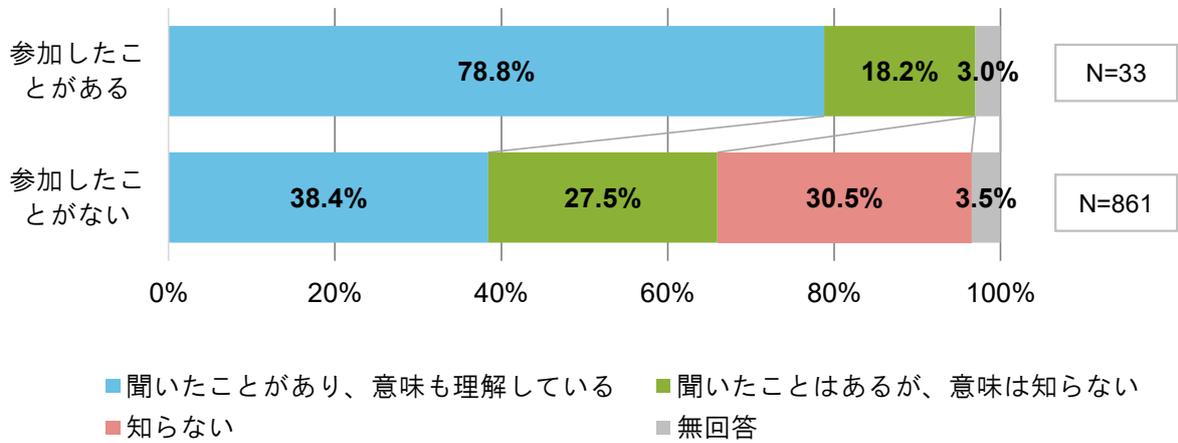
■ 防災に関する補助制度を知っていますか。【複数選択可】

全体を通して認知度が低い。利用を促進し、ハード的な問題の解決が図れるよう、継続した情報の発信が必要。



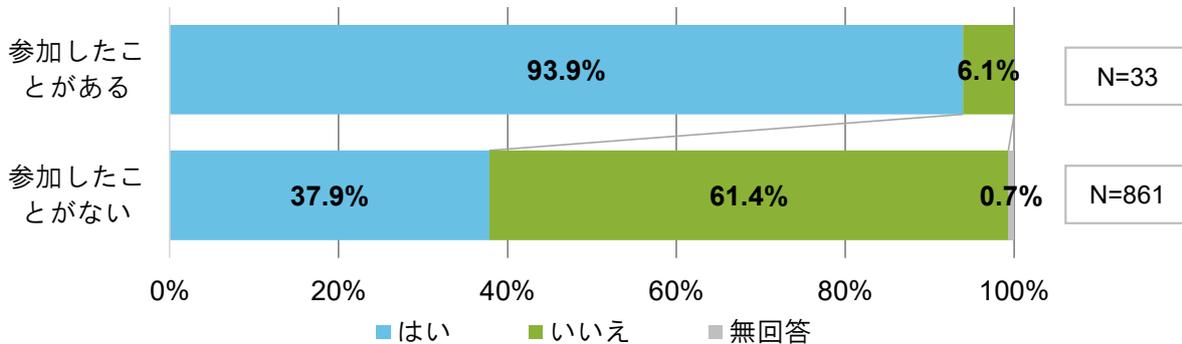
■防災に関して、「自助・共助」という言葉を知っていますか。

防災まちづくりに参加したことがある方ほど、「聞いたことがあり、意味も理解している」との回答割合が高い。



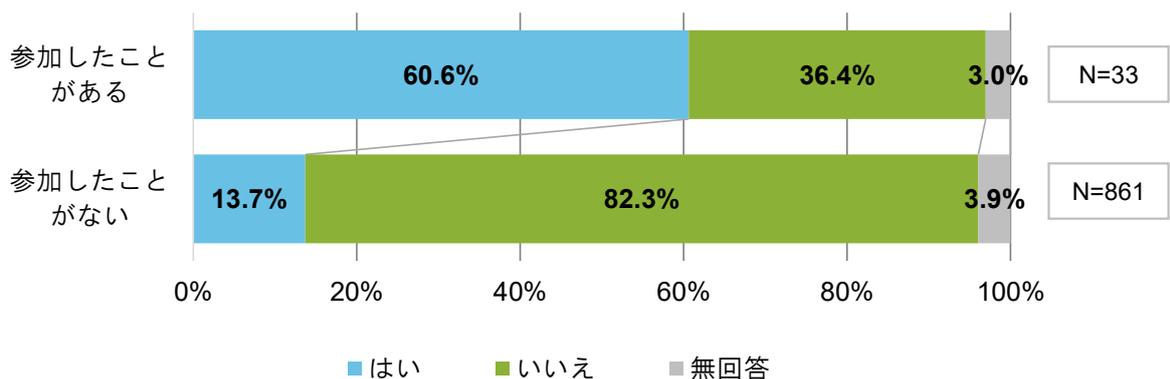
■馬絹町内会では災害時に地域で助け合うため、防災訓練や安全な避難、救助活動、避難所運営などの準備を進めていることを知っていますか。

防災まちづくりに参加したことがある方ほど、「はい」との回答割合が高い。



■馬絹町内会のホームページを見たことはありますか。

防災まちづくりに参加したことがない方ほど、「はい」との回答率が低く、閲覧されていない。



■馬絹町内会からの情報発信の方法として、あなたにとって望ましい方法は何ですか。

【複数選択可】

防災まちづくりに参加したことがあるか、ないかに関わらず、回覧板、掲示板、ウェブページ（HP等）が多い傾向にある。

